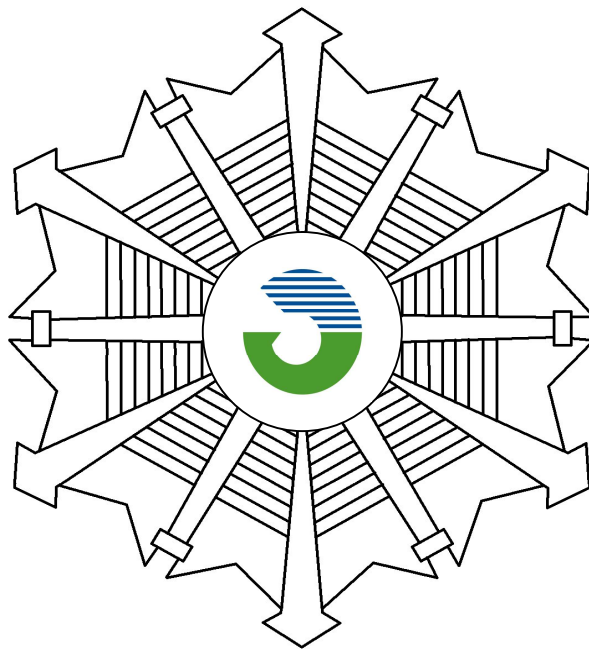


消 防 年 報

第 5 1 号



令和 5 年刊行

田原市消防本部

は じ め に

近年の社会環境の急速な都市化は、消防においても、予期せぬ災害の発生や被害の大規模化をもたらし、一度発生すると住民の生命、財産に甚大な危険を与えることも予想されます。

本市におきましても、こうした社会の変化に的確に対応できるよう消防力の充実強化に努め「安全で住みよいまちづくり」に総力を挙げて取り組んでおります。

この年報は、令和4年中及び令和5年4月1日現在の資料を中心に収録し、将来の参考に資するとともに、消防活動の状況を広く紹介するために編集したもので、市民の皆様及び関係者の方に広く活用され、本市の消防行政についてご理解をいただければ幸いです。

令和5年5月

田 原 市 消 防 本 部

目 次

消防情勢

田原市の位置と市勢	1
田原市の人口・世帯数	2
分団区域別人口・世帯数	2
過去10年間の人口推移	2
過去5年間の当初予算額	3
消防費の当初予算額内訳	3
令和5年度当初予算額に対する 人口・世帯の充当割	3
消防の沿革	4
消防本部・署の表彰歴	9
消防団の表彰歴	10
消防の組織	13
消防本部・消防署・分署の位置	14
消防本部・消防署事務分掌	15
現有消防力	17
管内消防団分団区域及び車両配置図	18
消防車両現況	
（消防本部・消防署・分署）	19
消防車両現況（消防団）	20
消防水利	21
消防職員配置状況	22
消防職員特技資格	23
消防職員年齢	24
消防職員勤続年数	25

火 災

火災概要	26
分団区域別火災件数	26
月別出火件数	27
月別火災損害額	27
原因別火災発生状況	28
時間別火災発生状況	28
風向別火災発生状況	29
過去5年間の火災発生状況	29

救急・救助

過去5年間の救急件数	30
曜日別救急出動件数	30
分団区域別救急出動件数	31
事故別搬送人員の傷病程度	31
月別救急件数	32
年齢区分別搬送人員	33
覚知時間別救急出動件数	33
現場到着所要時間別出動件数	34
収容所要時間別搬送人員	34
過去5年間の救助件数	35
事故別救助件数	35
分団区域別救助件数	36
時間帯別救助件数	37

予防・危険物

防火管理者を必要とする防火対象物数	38
分団区域別防火対象物数（150㎡以上）	39
3階以上の防火対象物数	40
火災予防の普及指導状況	40
消防用設備等設置届状況	41
用途別建築同意件数	42
分団区域別危険物施設数	43
過去10年間の危険物施設の推移	44
倍数別・類別危険物施設数	45
危険物施設許可・検査・承認状況	46
諸届出状況	47

通信

消防防災ネットワーク	48
通信施設の保有状況	49
119番着信状況	50

消防団

消防団員数	51
消防団員勤続年数	51
消防団員年齢	52

歴代消防役職者

歴代消防長・消防署長	53
歴代消防団正副団長	54

附属資料

防 災

自主防災会の組織（例）	56
自主防災会設置状況	56
地震災害避難場所	57
地震避難所	58
風水害避難所	59
飲料水兼用耐震性貯水槽整備状況	60
コミュニティ協議会可搬式 小型動力ポンプ配置状況	60
防災行政無線設備設置状況	61

気 象

月別日平均風速	62
月別風速状況	62
月別風向頻度	63
月別気温状況	64
月別湿度状況	64
月別降雨状況	65
月別降雨日数状況	65

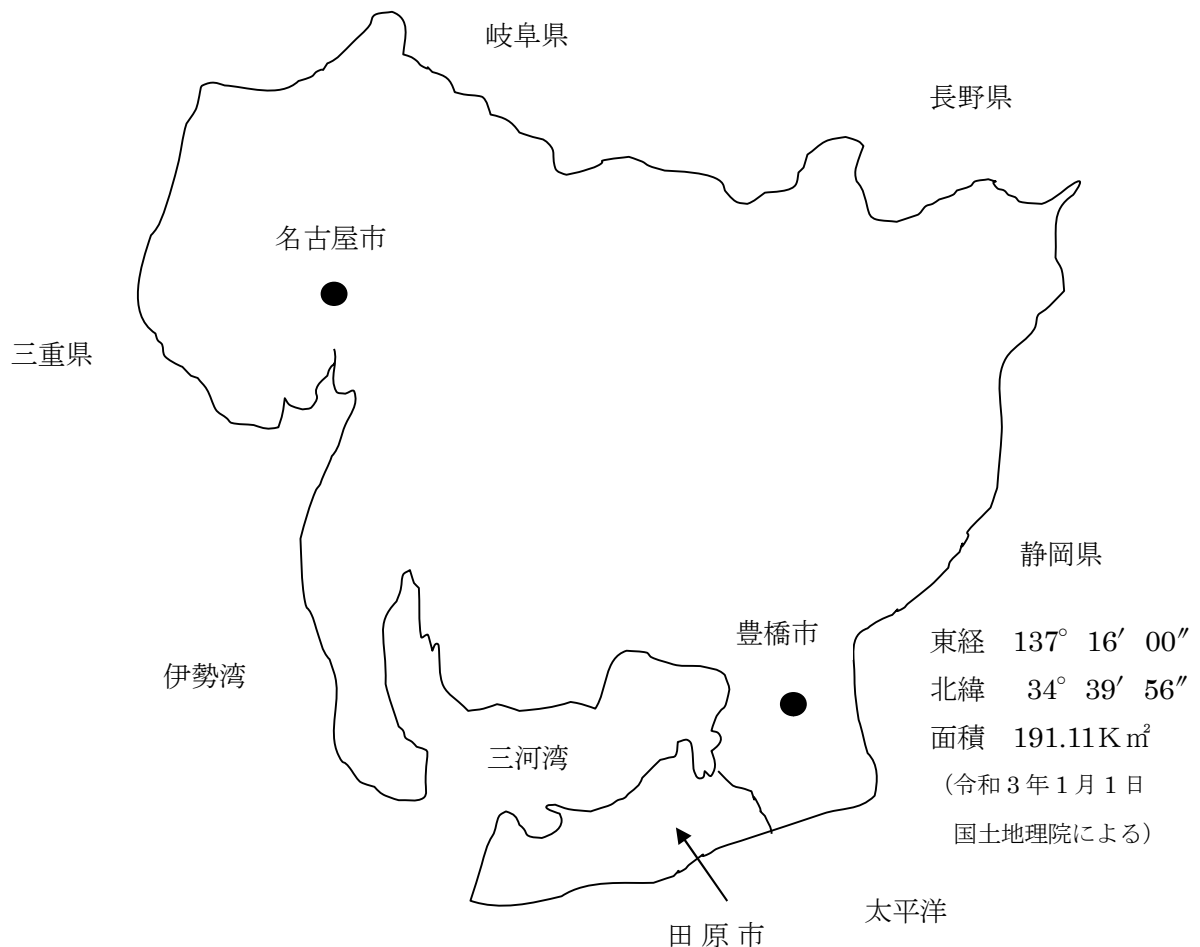
消 防 情 勢

田原市の位置と市勢

田原市は、愛知県の南端に位置しており、北は三河湾、南は太平洋、西は伊勢湾と三方を海に囲まれた渥美半島のほぼ全域が市域となっています。海岸線の延長は約100kmにも及び、唯一、東側を陸続きに豊橋市と接しています。

本市の特徴としましては、温暖な特性を活かしながら発展し、農業基盤整備や近代化施設などの整備により、国内屈指の高生産性農業が展開されている農業のまちであります。一方、工業では、産業集積地となっている三河港臨海部は、昭和39年の重要港湾指定・東三河工業整備特別地域指定を受け、造成地に自動車産業など多数の企業が進出しました。近年では、風力、太陽光、バイオマス発電施設などの立地により、再生可能エネルギー産業も進出した工業地帯となっています。

こうした三河港臨海部の飛躍的な進展とあわせ、風光明媚な海岸線や恋路ヶ浜、伊良湖岬灯台など情感あふれる海と山に囲まれた美しい自然環境を活用した農・工・商の調和のとれた環境と共生する豊かで持続する地域づくり「エコガーデンシティ」を進めています。



田原市の人口・世帯数

(令和5年4月1日現在)

人 口	世 帯 数	男	女
59,229 人	22,913 世帯	30,105 人	29,124 人

分団区域別人口・世帯数

区 域 別	人 口	世 帯 数
東 部	5,503 人	1,966 世帯
神 戸	7,302 人	2,886 世帯
南 部	4,043 人	1,583 世帯
野 田	2,788 人	966 世帯
中 部	10,154 人	4,553 世帯
童 浦	6,705 人	2,857 世帯
赤 羽 根	5,230 人	1,823 世帯
泉	3,233 人	1,227 世帯
福 江	10,815 人	3,871 世帯
伊良湖岬	3,456 人	1,181 世帯
合 計	59,229 人	22,913 世帯

過去10年間の人口推移

	人 口	男	女
平成26年	65,017 人	32,825 人	32,192 人
平成27年	64,382 人	32,521 人	31,861 人
平成28年	63,853 人	32,260 人	31,593 人
平成29年	63,174 人	31,895 人	31,279 人
平成30年	62,841 人	31,791 人	31,050 人
平成31年	62,191 人	31,488 人	30,703 人
令和 2年	61,564 人	31,106 人	30,458 人
令和 3年	60,609 人	30,564 人	30,045 人
令和 4年	59,734 人	30,239 人	29,495 人
令和 5年	59,229 人	30,105 人	29,124 人

過 去 5 年 間 の 当 初 予 算 額

年度 \ 区分	一 般 会 計	消 防 費	市一般会計に対する 消防費の割合
平成31年度	29,720,000 千円	1,426,512 千円	4.8%
令和 2年度	29,210,000 千円	1,679,470 千円	5.7%
令和 3年度	27,630,000 千円	1,636,744 千円	5.9%
令和 4年度	28,480,000 千円	1,358,279 千円	4.8%
令和 5年度	29,540,000 千円	2,108,072 千円	7.1%

消 防 費 の 当 初 予 算 額 内 訳

年度 \ 区分	常備消防費 (千円)	非常備消防費 (千円)	消防施設費 (千円)	水防費 (千円)	災害対策費 (千円)
平成31年度	1,054,559	131,921	142,704	568	96,760
令和 2年度	1,032,311	129,836	138,369	677	378,277
令和 3年度	1,051,244	126,430	182,242	575	276,253
令和 4年度	1,030,419	128,006	100,816	572	98,466
令和 5年度	1,006,351	129,475	208,183	617	763,446

令和5年度当初予算額に対する人口・世帯の充当割

年度 \ 区分	当初予算額	人口1人当り	1世帯当り
市一般会計	29,540,000 千円	498,742 円	1,289,224 円
消 防 費	2,108,072 千円	35,592 円	92,003 円

(人口・世帯数は令和5年4月1日現在)

消 防 の 沿 革

(町火消時代)

文政12年 8月	田原城下に住む若者たちが相図って、若者控連判状を作り、主として相互修養を行い出火のときは火消夫となって出動した。
天保13年	用水桶6個を購入した。
天保14年	田原城主から、火事具を与えられ火災消防に当った。
元治 元年	田原城主から、竜吐水手筒2丁、提灯箱14箱を貸し与えられ火消としての内容が整った。
明治 5年10月	出火合図が定められた。
明治11年	組合の法被（一重木綿）が新調されると同時に全町にわたり自警消防が設立されていっそう外形が整った。

(公設消防時代)

大正 3年	松井愛知県知事及び松井警察分署長のすすめにより公設消防組が設立され、ここに公設消防としての第1歩を踏み出した。
昭和14年 4月	消防組を警防団と改称した。
昭和22年 9月	警防団を消防団と改称した。

(自治体消防時代)

昭和22年12月	消防組織法公布にともなって、自治体消防として発足した。
昭和29年12月	町村合併により一時解団
昭和30年 1月 1日	旧田原町、神戸村、野田村が合併、新しく田原町として発足と同時に団員910名をもって田原町消防団を編成し発足した。
昭和30年 4月	杉山村の一部（大字六連地区）を合併し、団長1、副団長4、分団数24、団員数1,000名の消防団となった。
昭和34年 4月	分団数23、団員数942名に減じた。
昭和38年 4月	20分団に編成替え、団長1、副団長2、団員数888名となった。
昭和39年 4月	消防団員数を808名に減じた。
昭和40年 4月	消防団員数を698名に減じた。
昭和45年 4月	消防5か年計画に基づき、役場総務課に係員6名をもって消防係が置かれた。さらに、6分団に統合編成、団員数637名となった。
昭和45年 8月	救急自動車購入、同月10日から役場消防係による救急業務を開始した。
昭和46年 1月 1日	田原町消防本部を設置
昭和46年 4月 1日	消防団員数を589名に減じた。
昭和46年12月20日	消防本部（署）庁舎竣工
昭和47年 4月 1日	消防署発足。消防本部（署）に消防係を置き、消防職員24名にて消防一般業務を開始、団員数を530名に減じた。
昭和48年 4月 1日	消防本部に予防係を新設、消防職員29名となった。
昭和49年 4月 1日	消防職員34名に増員

昭和51年	3月31日	副団長の定数を1名に減じた。
昭和53年	1月15日	(株)石高組から、消防船の寄贈を受けた。
昭和54年	4月 1日	消防職員36名に増員
昭和54年	10月12日	田原町防火協会から、指揮車の寄贈を受け消防署に配備
昭和54年	10月12日	協栄木工(株)から、携帯無線機の寄贈を受けた。
昭和55年	4月 1日	消防課に危険物係を新設
昭和55年	10月23日	(社)日本損害保険協会から、損保号の寄贈を受け消防署に配備
昭和56年	4月 1日	消防職員39名に増員
昭和56年	10月13日	協栄木工(株)から、資材搬送車の寄贈を受け消防署に配備
昭和57年	3月26日	救急指令装置購入、消防本部(署)に配備
昭和57年	4月 1日	消防職員40名に増員
昭和57年	8月27日	気象観測装置(デジタルデータ集録装置付)購入、消防署に配備
昭和58年	4月 1日	消防署に警防係を新設、消防職員41名に増員
昭和62年	6月 1日	消防課の予防係、危険物係を統合し予防危険物係を新設、 消防署に警防第1係、警防第2係を新設
昭和62年	8月31日	消防本部(署)庁舎竣工
平成 元年	1月25日	訓練塔竣工
平成 2年	4月 1日	消防団員数を410名に減じた。
平成 5年	4月 1日	消防職員44名に増員
平成 6年	4月 1日	消防職員49名に増員
平成 7年	1月18日	阪神・淡路大震災(兵庫県南部地震)被災地に救助隊延べ2隊6名
	～ 1月23日	派遣(神戸市)
平成 7年	2月27日	阪神・淡路大震災(兵庫県南部地震)被災地に消火隊員延べ4名
	～ 3月20日	派遣(神戸市)
平成 7年	4月 1日	消防職員51名に増員
平成 7年	10月16日	渥美郡赤羽根町長から田原町長へ「消防事務に関する事務の委託について」の依頼があった。
平成 8年	4月 1日	「消防事務委託研究会」を設置する。
平成 9年	2月18日	豊橋信用金庫から2B型救急自動車の寄贈を受け、消防署に配備
平成10年	3月 3日	愛知県共済生活協同組合から、広報車の寄贈を受け消防本部に配備
平成10年	3月11日	渥美郡赤羽根町議会において、消防事務の委託に関する議決がされた。
平成10年	3月18日	田原町議会において、消防事務の委託に関する議決がされた。
平成10年	3月20日	消防緊急通信指令装置購入、消防本部(署)に配備
平成10年	4月 1日	渥美郡赤羽根町長と田原町長との間で、消防広域常備化に伴う消防事務委託の基本的事項に関する確認書の締結がされた。 消防職員定数を71名に改正、消防職員57名に増員
平成10年	4月 2日	渥美郡赤羽根町が消防体制の常備化に係る政令指定を受けた。
平成10年	10月 1日	渥美郡赤羽根町長と田原町長との間で、消防事務の委託に関する附属協定書の締結がされた。

平成10年12月22日	広域常備消防業務開始に伴う条例改正議決
平成11年 2月26日	田原町消防署赤羽根分署庁舎新築工事完了
平成11年 3月 4日	(社)日本損害保険協会から、火災保険号(水槽付消防ポンプ自動車)の寄贈を受けた。(赤羽根分署へ配置)
平成11年 3月24日	田原町消防署赤羽根分署庁舎竣工、開署
平成11年 3月31日	田原町長と赤羽根町長との間で締結されていた、「救急に関する協定書」の廃止
平成11年 4月 1日	消防職員62名に増員、消防署に通信係を新設 渥美郡赤羽根町の消防事務受託業務開始 田原町消防署赤羽根分署に警防第1係、警防第2係を置き、分署長以下職員9名にて消防事務受託業務開始する。
平成12年 4月 1日	消防職員67名に増員(赤羽根分署11名に増員)
平成13年 4月 1日	消防職員68名に増員(赤羽根分署13名に増員) 消防署に通信第1係、通信第2係を新設
平成13年11月19日	ラッパ隊9名にて結成
平成14年 4月 1日	消防署(本署、分署)警防係及び通信係が3交替制勤務開始 消防職員69名に増員
平成14年 4月24日	東海地震に係る地震防災対策強化地域に指定
平成15年 8月20日	田原町、赤羽根町が合併し田原市が誕生、消防団は1団、9分団、車両21台、団長1名、副団長2名、団員定数557名の田原市消防団となる。 赤羽根町の広報車を消防本部に配備
平成15年12月17日	東南海・南海地震防災対策推進地域に指定
平成16年 3月19日	高松分団詰所・車庫新築工事完了
平成16年 4月 1日	消防職員70名に増員
平成16年 8月 7日	第49回愛知県消防操法大会(佐屋町)東部分団出場 (自動車ポンプの部)
平成17年 3月22日	赤羽根分団詰所・車庫新築工事完了
平成17年 3月 1日	万博消防署へ職員1名派遣
平成17年 4月 1日	消防職員71名に増員 消防団は1団、7分団、車両16台に統合編成(高松・赤羽根・若戸の3分団8車両を1分団3車両に統合し名称を赤羽根分団とする。 北部分団が童浦分団へと名称変更) 消防団員数を495名に減じた。 愛知県防災航空隊へ職員1名派遣(任期3年)
平成17年 7月23日	第50回愛知県消防操法大会(豊田市)神戸分団出場 (自動車ポンプの部5位入賞)
平成17年10月 1日	田原市、渥美町が合併し、消防本部が市役所本庁舎内に移転、旧渥美町消防署は渥美分署となり、1本部1署2分署、車両33台、消

		防職員126名となる。防災対策室が総務部から消防本部へ組織編成される。消防団は1団10分団、車両25台、団長1名、副団長3名、団員定数746名の田原市消防団となる。
平成18年	2月28日	赤羽根分署増築工事完了
平成18年	3月13日	防災行政無線固定系一波統一工事完了（渥美エリア拡充工事）
平成18年	3月26日	赤羽根分団3号車詰所・車庫新築工事完了
平成18年	7月22日	第51回愛知県消防操法大会（大府市）南部分団出場 （ポンプ車操法の部7位入賞）
平成19年	3月19日	デジタル地域防災無線システム整備工事完了（渥美エリア拡充工事）
平成19年	7月16日	第52回愛知県消防操法大会（豊橋市）野田分団出場 （ポンプ車操法の部）
平成19年	8月10日	市役所南庁舎6階に防災センターを整備 （田原市防災情報システム施設等整備工事完了）
平成20年	2月26日	愛知県共済生活協同組合から、広報車の寄贈を受け消防本部に配備
平成20年	3月14日	渥美分署改築工事完了（警防事務室）
平成20年	7月12日	第53回愛知県消防操法大会（一宮市）中部分団出場 （ポンプ車操法の部）
平成21年	1月28日	全国瞬時警報システム（J-ALERT）整備工事完了
平成21年	2月27日	渥美分署改築工事完了（個室仮眠室等）
平成21年	3月19日	消防署改築工事完了（個室仮眠室等） 緊急地震速報受信装置を市公共施設（114か所）に整備
平成21年	4月 1日	防災対策室を防災対策課に名称変更 愛知県消防学校へ職員1名派遣（任期2年）
平成21年	8月 8日	第54回愛知県消防操法大会（岡崎市）童浦分団出場 （ポンプ車操法の部8位入賞）
平成21年	11月13日	神戸分団1号車詰所・車庫新築工事完了
平成22年	7月24日	第55回愛知県消防操法大会（日進市）赤羽根分団出場 （小型ポンプの部）
平成23年	3月12日 ～ 4月12日	東日本大震災被災地（宮城県亘理郡）に緊急消防援助隊（愛知県隊）として延べ9隊41名を派遣
平成23年	7月16日	第56回愛知県消防操法大会（田原市）泉分団出場 （小型ポンプの部5位入賞）
平成24年	1月 1日	東三河消防通信指令事務協議会加入 （運用開始 同年3月1日 消防指令センターへ職員3名派遣）
平成24年	4月 1日	消防署に指揮係を新設
平成24年	7月21日	第57回愛知県消防操法大会（半田市）福江分団出場 （小型ポンプの部）
平成25年	2月26日	（財）日本消防協会から、多機能型消防車両の交付を受け伊良湖岬分団に配備

平成25年	3月 7日	総務省消防庁から、支援車の無償貸与を受け消防署に配備
平成25年	3月14日	消防救急デジタル無線機器整備完了（運用開始 同年3月26日）
平成25年	4月 1日	消防団員数を720名に減じた。 消防団に機能別団員制度を導入する。 愛知県防災航空隊へ職員1名派遣（任期3年）
平成25年	6月26日	第36回全国消防職員意見発表会において遠山直也消防士が最優秀賞を受賞
平成25年	8月10日	第58回愛知県消防操法大会（西尾市）伊良湖岬分団出場 （小型ポンプの部5位入賞）
平成26年	3月27日	アイシン・エイ・ダブリュ(株)から、携帯用拡声器25基の寄贈を受け消防団に配備
平成26年	3月28日	南海トラフ地震防災対策推進特別措置法に基づき、防災対策推進地域、津波避難対策特別強化地域に指定
平成26年	3月30日	総務省消防庁から、小型動力ポンプ付軽自動車、消防団拠点資機材等の無償貸付を受け福江分団に配備
平成26年	4月 1日	（公財）日本消防協会へ職員1名派遣（任期2年）
平成26年	8月 9日	第59回愛知県消防操法大会（小牧市）東部分団出場 （小型ポンプの部）
平成26年	9月29日 ～10月11日	御嶽山噴火災害に緊急消防援助隊（愛知県隊）として延べ6隊13名を派遣
平成26年	10月10日	消防署航空燃料庫新築工事
平成26年	11月26日	消防署訓練用地舗装工事
平成26年	12月 9日	（公財）日本消防協会から防災活動車の交付を受け、消防本部に配備
平成27年	3月12日	渥美分署改築工事完了（車庫）
平成27年	3月24日	消防署増改築工事完了（バリアフリー改修工事）
平成27年	3月27日	泉分団詰所・車庫新築工事完了（1号車・2号車統合）
平成27年	8月 8日	第60回愛知県消防操法大会（豊川市）神戸分団出場 （ポンプ車操法の部4位入賞）
平成28年	2月15日	消防署改築工事完了（消毒庫） 屋外訓練塔補修工事（階段等）
平成28年	3月11日	福江分団4号車詰所・車庫新築工事完了
平成28年	3月30日	伊良湖岬分団3号車詰所・車庫新築工事完了
平成28年	4月 1日	機構改革により市長部局に「防災局」を設置。防災対策課が消防本部から防災局へ組織編成される。
平成28年	7月30日	第61回愛知県消防操法大会（尾張旭市）南部分団出場 （ポンプ車操法の部）
平成28年	5月24日	伊勢志摩サミット消防特別警戒のため職員1名派遣
平成29年	3月16日	消防署2階浴室改修工事完了
平成29年	3月27日	福江分団3号車詰所・車庫新築工事完了
平成29年	4月 1日	愛知県消防学校へ職員1名派遣（任期2年）

平成29年	8月	5日	第62回愛知県消防操法大会（碧南市）野田分団出場 （小型ポンプ操法の部優勝）
平成30年	4月	1日	消防団員を730名に増員し、本部付け女性消防団員を10名任用する。
平成30年	4月	1日	消防本部に予防課を新設
平成30年	7月	2日	伊良湖岬分団2号車詰所・車庫新築工事完了
平成30年	7月	6日 ～7月12日	平成30年7月豪雨に緊急消防援助隊（愛知県隊）として岡山市に延べ3隊12名を派遣
平成30年	7月	28日	第63回愛知県消防操法大会（稲沢市）中部分団出場
平成31年	3月	28日	福江分団2号車詰所・車庫新築工事完了
平成31年	4月	1日	名古屋市消防局へ職員1名派遣（任期1年）
令和元年	7月	20日	第64回愛知県消防操法大会（蒲郡市）童浦分団出場 （ポンプ車操法の部5位入賞）
令和2年	2月	27日	消防署研修ホール空調改修工事完了
令和2年	3月	30日	消防署ホースリフター改修工事完了
令和2年	4月	1日	愛知県防災航空隊へ職員1名派遣（任期3年）
令和2年	8月	1日	第65回愛知県消防操法大会（長久手市）新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止
令和3年	2月	24日	東部分団1号車詰所・車庫新築工事完了（石油貯蔵施設立地対策等交付金）
令和3年	7月	10日 ～7月19日	静岡県熱海市土石流災害に緊急消防援助隊（愛知県隊）として延べ2隊8名を派遣
令和3年	7月	31日	第66回愛知県消防操法大会（安城市）新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止
令和4年	2月	4日	伊良湖岬分団1号車詰所・車庫新築工事完了
令和4年	3月	24日	愛知県共済生活協同組合から、査察車の寄贈を受け消防本部に配備
令和4年	4月	1日	組織改編により予防課の予防危険物係を予防係と危険物係に分割
令和4年	8月	6日	第67回愛知県消防操法大会（常滑市）泉分団出場 （小型ポンプ操法の部3位入賞）
令和5年	4月	1日	名古屋市消防局へ職員1名派遣（任期1年）

消防本部・署の表彰歴

昭和49年 6月 5日

田原警察署長から、日頃の救急活動に対し感謝状を授与された。

昭和49年11月 7日

愛知県消防協会長から、活動内容が優秀、他の模範であるとして、東三河消防連合演習を記念して楯を授与表彰された。

昭和53年11月19日

愛知県知事から、自治体消防制度発足30周年にあたり、消防成績が優秀であるとして竿頭綬を授与表彰された。

平成7年5月27日

消防庁長官から、1月17日に発生した阪神・淡路大震災の消防応援活動に対し感謝状を授与された。

平成18年10月28日

愛知県消防協会長から、地区消防大会を記念して表彰状と竿頭綬を授与された。

平成23年10月26日

全国消防長会会長から、3月11日に発生した東日本大震災の緊急消防援助隊活動に対し表彰状を授与された。

平成23年11月9日

総務大臣から、東日本大震災に緊急消防援助隊を派遣した消防応援活動に対し表彰状を授与された。

平成27年1月21日

長野県知事から、9月27日に発生した御嶽山における噴火災害での人命救助活動に対し、表彰状を授与された。

平成27年2月6日

消防庁長官から、9月27日に発生した御嶽山における噴火災害の緊急消防援助隊活動に対し表彰状を授与された。

平成28年8月1日

消防庁長官から、5月24日から29日まで実施した伊勢志摩サミットにおける消防特別警戒に対し賞状を授与された。

平成31年2月5日

消防庁長官から、平成30年7月6日に発生した平成30年7月豪雨における緊急消防援助隊活動に対し賞状を授与された。

令和4年2月21日

消防庁長官から、令和3年7月3日に発生した静岡県熱海市土石流災害における緊急消防援助隊活動に対し賞状を授与された。

消 防 団 の 表 彰 歴

昭和31年3月1日

国家消防本部から、総合的消防力の強化拡充につき、消防功労者表彰旗を授与された。

昭和34年12月9日

中部日本災害対策本部長（国務大臣）から、台風15号に際しての災害復旧に対する功績に対して感謝状を授与された。

昭和34年12月23日

愛知県知事から、伊勢湾台風の災害防止、復旧に対する功労により表彰状を授与された。

昭和35年 3月 8日

国家消防本部から、風水害の功労に対して表彰状を授与された。

昭和36年 3月15日

愛知県消防協会長から、無火災の功績により表彰状と金一封を授与された。

昭和38年 2月11日

日本消防協会長から、消防使命達成、成績抜群の功績によって表彰旗を授与された。

昭和41年 8月 6日

愛知県消防協会長から、第10回県下消防団消防操法大会で実施した模範部隊訓練によって優秀な成績を収め表彰された。

昭和41年 8月19日

第11回県下消防操法大会の自動車結合吸管の部において優勝し、表彰状を授与された。

昭和41年12月19日

愛知県知事から、集中豪雨の災害復旧に対する功労により表彰状を授与された。

昭和41年12月28日

消防庁長官から、集中豪雨における救助水防活動の功労により表彰状と記念品を授与された。

昭和42年 3月27日

愛知県消防協会長から、集中豪雨における被災者救助の功績により現場功労旗を授与された。

昭和42年 9月 1日

内閣総理大臣から、集中豪雨に際し被災者の救援及び災害復旧の功績に対して表彰状を授与された。

昭和44年 8月 2日

愛知県知事から、第14回県下消防操法大会の自動車ポンプ軽量吸管の部において優秀な成績を収め表彰状を授与された。

昭和46年10月13日

愛知県知事から、台風23号に伴う集中豪雨に際しての災害防止功労に対して感謝状を授与された。

昭和48年 6月 7日

全国防災協会長から、昭和47年の水害防止復旧活動に努めた功労により表彰状を授与された。

昭和48年11月15日

愛知県消防協会長から、優良消防団として特別功績旗を授与、表彰された。

昭和49年11月 7日

愛知県消防協会長から、東三河消防連合演習において他の模範として竿頭綬、楯を授与、表彰された。

昭和53年11月 3日

愛知県知事から、優良消防団として表彰状を授与された。

昭和61年10月25日

愛知県消防協会長から、地区消防大会40周年を記念して表彰状を授与された。

昭和61年11月16日

愛知県消防協会長から、優良消防団として功績旗を授与、表彰された。

愛知県知事から、地区消防大会40周年を記念して竿頭綬を授与、表彰された。

平成4年8月4日

第37回愛知県消防操法大会のポンプ車の部において優勝し、表彰状を授与された。

平成5年11月9日

愛知県消防協会長から、自治体消防制度45周年を記念して竿頭綬を授与、表彰された。

平成6年8月28日

愛知県消防協会長から、地区消防大会を記念して表彰状を授与された。

平成10年11月20日

愛知県知事から、地区消防大会50周年を記念して竿頭綬を授与、表彰された。

平成11年11月4日

愛知県知事から、優良消防団として功績旗を授与、表彰された。

平成14年8月22日

愛知県消防協会長から、地区消防大会を記念して表彰状を授与された。

平成18年10月28日

愛知県消防協会長から、地区消防大会を記念して表彰状を授与された。

平成22年10月2日

愛知県消防協会長から、地区消防大会を記念して表彰状と竿頭綬を授与された。

平成23年11月1日

愛知県消防協会長から、防火の普及啓発、安心・安全な地域づくりに努めたとして表彰状と特別竿頭綬を授与された。

平成26年2月17日

総務大臣から、消防団員の確保を通じ地域防災体制の充実・地域の安心安全の確保に寄与したことに対して感謝状を授与された。

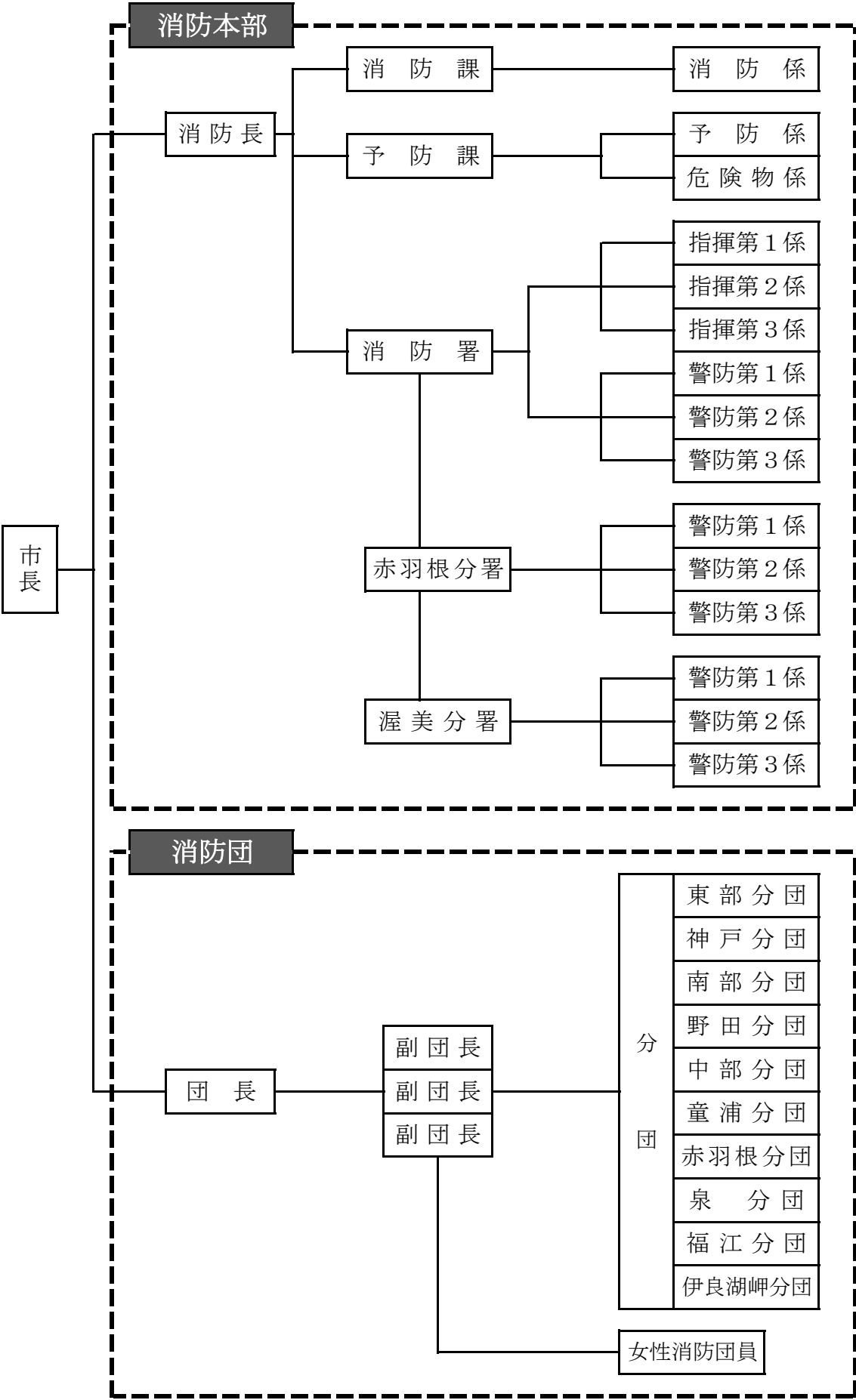
平成29年8月5日

第62回愛知県消防操法大会の小型ポンプ操法の部において優勝し、表彰状を授与された。

令和2年3月3日

日本消防協会長から、永年にわたり抜群の成績を堅持したとして、特別表彰まといを授与された。

消 防 の 組 織



田原市消防本部の位置

所在地 〒441-3492
愛知県田原市田原町南番場30番地1
田原市役所南庁舎3階
電話 (0531) 23-4073
FAX (0531) 23-0180

田原市消防署の位置

所在地 愛知県田原市田原町丸田14番地
敷地面積 6,694.92m²
建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造
延面積 2,234.72m²
竣工 昭和62年8月31日
電話 (0531) 23-0119(代)
FAX (0531) 23-2440

赤羽根分署の位置

所在地 愛知県田原市赤羽根町大石畑6番地
敷地面積 2,453.72m²
建物構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
延面積 689.51m²
竣工 平成11年3月24日
電話 (0531) 45-4119
FAX (0531) 45-4120

渥美分署の位置

所在地 愛知県田原市福江町中羽根104番地
敷地面積 3,877.97m²
建物構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
延面積 1,415.12m²
竣工 昭和47年3月31日
電話 (0531) 33-0119
FAX (0531) 32-2479

消防本部・消防署事務分掌

消防課

消防係

- (1) 人事及び組織に関すること。
- (2) 公印の保管に関すること。
- (3) 文書の収受発送に関すること。
- (4) 例規に関すること。
- (5) 消防職員の福利厚生に関すること。
- (6) 予算その他経理に関すること。
- (7) 消防統計及び消防情報に関すること。
- (8) 消防計画に関すること。
- (9) 災害の警戒及び防ぎよに関すること。
- (10) 消防団に関すること。
- (11) 消防教養訓練に関すること。
- (12) 救急、救助業務に関すること。
- (13) 消防施設の整備計画に関すること。
- (14) 消防施設の整備保全及び運用に関すること。
- (15) 消防職員委員会に関すること。
- (16) その他消防の庶務に関すること。

予防課

予防係

- (1) 防火思想の普及及び広報に関すること。
- (2) 対象物の検防火査及び指導に関すること。
- (3) 消防用設備等又は特殊消防用設備等の設置、指導及び検査に関すること。
- (4) 建築同意事務に関すること。
- (5) 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (6) 火災警報及び気象に関すること。
- (7) 田原市火災予防条例(昭和37年田原町条例第3号)に基づく届出(第45条の規定に基づく届出を除く。)及び指導に関すること。
- (8) 幼年消防クラブ、少年消防クラブ及び女性防火クラブに関すること。
- (9) その他火災予防に関すること。

危険物係

- (1) 公印の保管に関すること。
- (2) 危険物の規制に関すること。
- (3) 危険物製造所等の許認可及び検査に関すること。
- (4) 危険物災害の調査研究に関すること。
- (5) 液化石油ガス及び圧縮アセチレンガスの届出及び指導に関すること。
- (6) 少量危険物及び指定可燃物の届出及び指導に関すること。
- (7) 石油コンビナート等の災害予防に関すること。
- (8) 煙火消費の許可等に関すること。
- (9) その他危険物に関すること。

消防署

消防署の指揮第1係、指揮第2係及び指揮第3係

- (1) 災害現場の指揮及び統制に関すること。
- (2) 部隊運用に関すること。
- (3) 災害現場の情報提供に関すること。
- (4) 災害情報の収集に関すること。
- (5) 火災原因及び損害の調査に関すること。
- (6) 防火対象物の立入検査に関すること。
- (7) 通信施設の整備保全及び運用に関すること。
- (8) 救急医療情報及び緊急通報システムに関すること。
- (9) 気象に関すること。
- (10) その他指揮業務に関すること。

消防署及び分署の警防第1係、警防第2係及び警防第3係

- (1) 火災その他災害の警戒及び防ぎょに関すること。
- (2) 消防対象物、消防水利の把握及び調査に関すること。
- (3) 署員の教育訓練及び服務に関すること。
- (4) 消防機械器具又は資機材の整備保全及び運用に関すること。
- (5) 警防計画に関すること。
- (6) 火災その他災害の記録に関すること。
- (7) 火災原因及び損害の調査に関すること。
- (8) 田原市火災予防条例（昭和37年田原町条例第3号）第45条の規定に基づく届出の受理に関すること。
- (9) 防火対象物の立入検査に関すること。
- (10) 救急救助業務に関すること。
- (11) 救急法の指導に関すること。
- (12) 消防本部との連絡調整に関すること。
- (13) その他の警防業務に関すること。

現 有 消 防 力

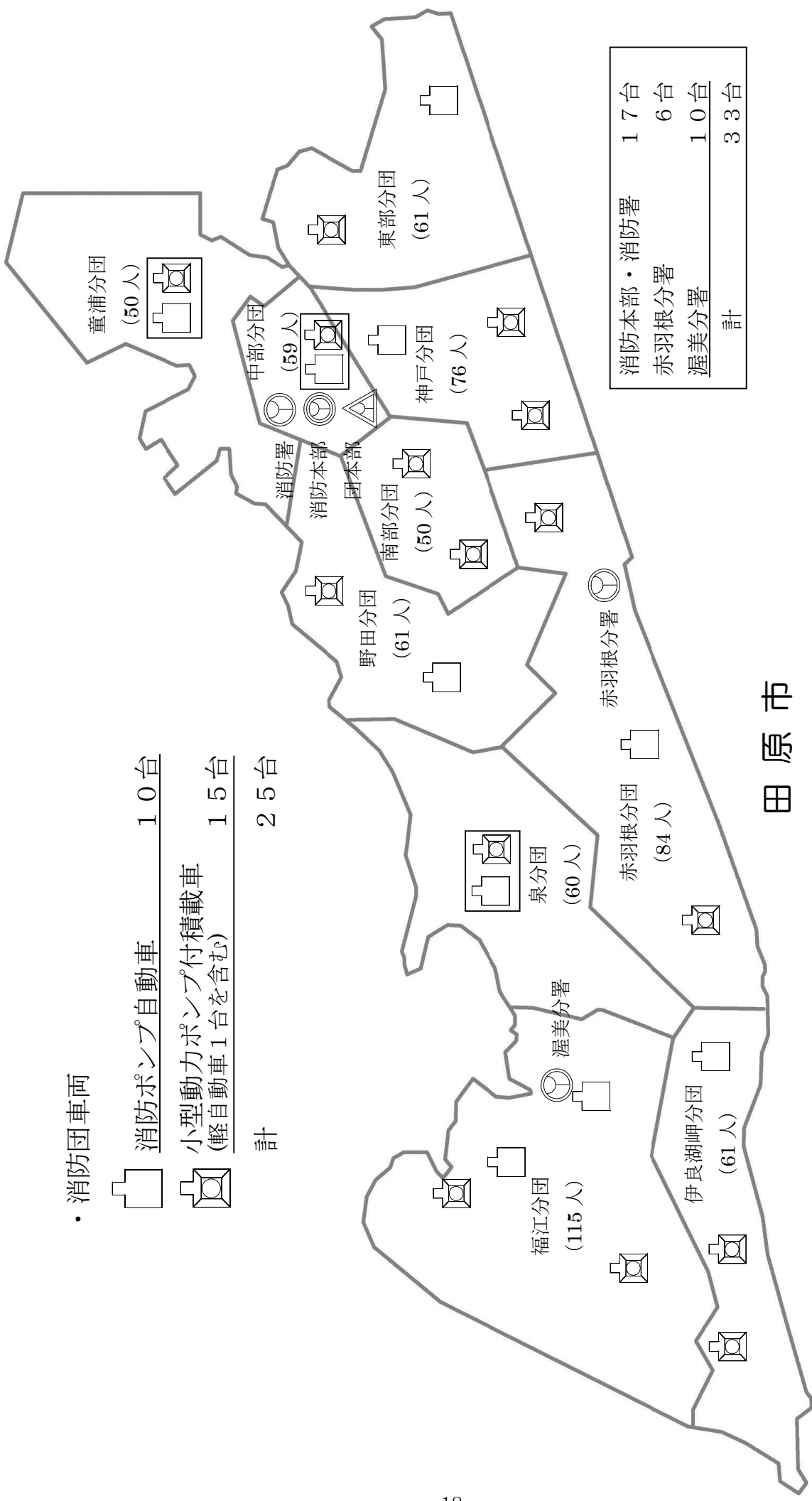
(令和5年4月1日現在)

区 分		現 有 数
署 所 の 数		3
車 両	消 防 ポ ン プ 自 動 車	7
	は し ご 自 動 車	1
	化 学 消 防 車	2
	救 助 工 作 車	1
	救 急 自 動 車	5
	特 殊 車 両	17
	合 計	33
人 員	警 防、救 助、救 急 要 員	80
	指 揮 要 員	12
	通 信 要 員	3
	予 防 要 員	6
	庶 務 の 処 理 等 の 要 員	11
合 計		112

管内消防団分団区域及び車両配置図

・消防団車両

	消防ポンプ自動車	10台
	小型動力ポンプ付積載車 (軽自動車1台を含む)	15台
	計	25台



消防本部・消防署	17台
赤羽根分署	6台
渥美分署	10台
計	33台

田原市

消防車両現況（消防本部・消防署）

消防本部 ・ 消 防 署

（令和5年4月1日現在）

種 別	車両 社名	登録年月	登録番号	経過 年数	ポンプ 性 能	ポンプ 社 名	摘 要
指 揮 車	トヨタ	平成21年 3月	豊橋800さ 8 1 6 0	14			
ポンプ車1	日野	平成21年 2月	豊橋800さ 8 1 4 0	14	A-2	日本ドライ	
ポンプ車2	トヨタ	平成10年12月	豊橋800さ 6 2 5	24	A-2	日本機械	
タンク車	日野	平成26年12月	豊橋800は 5 7 6	8	A-2	モリタ	水2,000 ^{リットル} CAFS
はしご車	日野	平成15年11月	豊橋800は 1 8 4	19			3 5 m
大型水槽車	日野	平成26年 2月	豊橋800は 5 5 2	9	B-2	トーハツ	水10,000 ^{リットル}
化学車	日野	平成17年12月	豊橋830の 1 1 9	17	A-2	日本ドライ	Ⅱ型
救助工作車	日野	平成17年 3月	豊橋800は 2 3 2	18			Ⅱ型
水難救助車	トヨタ	平成13年 7月	豊橋800さ 3 2 3 5	21			
資材搬送車	トヨタ	令和 2年 3月	豊橋800す 2 1 8 0	3			クレーン付
災害支援車	トヨタ	平成25年 3月	豊橋800さ 9 6 0 1	10			総務省消防庁から 無償貸与を受ける
救急1号車	トヨタ	令和 2年 1月	豊橋800す 2 1 3 8	3			高規格救急車
救急2号車	トヨタ	平成28年11月	豊橋800す 8 7 9	6			高規格救急車
広報1号車	トヨタ	平成20年 2月	豊橋800さ 7 6 4 1	15			愛知県共済生活協同組合 から寄贈を受ける
防災活動車	三菱	平成26年12月	豊橋800す 1 9 4	8			日本消防協会から 交付を受ける
広報3号車	トヨタ	平成14年 2月	豊橋800さ 3 7 2 6	21			愛知県共済生活協同組合 から寄贈を受ける
査 察 車	トヨタ	令和 4年 3月	豊橋800さ 2 9 9 3	1			愛知県共済生活協同組合 から寄贈を受ける

赤 羽 根 分 署

種 別	車両 社名	登録年月	登録番号	経過 年数	ポンプ 性 能	ポンプ 社 名	摘 要
ポンプ車	日野	平成24年11月	豊橋800さ 9 5 0 0	10	A-2	小川ポンプ	
タンク車	日野	平成31年 1月	豊橋800は 7 1 2	4	A-2	モリタ	水1,500 ^{リットル} CAFS
救急車	トヨタ	令和 3年12月	豊橋800す 2 8 6 9	1			高規格救急車
指令車	トヨタ	平成11年 3月	豊橋800た 2 3 3	24			
ボートトレーラ	SUNTREX	令和元年 6月	豊橋800る 3 2 6	3			水上バイク積載
資材搬送車	ダイハツ	平成14年 6月	豊橋80あ 3 0 7	20			

渥 美 分 署

種 別	車両 社名	登録年月	登録番号	経過 年数	ポンプ 性 能	ポンプ 社 名	摘 要
ポンプ車	日野	平成28年 1月	豊橋800す 5 3 7	7	A-2	モリタ	水600 ^{リットル} CAFS
タンク車	日野	平成27年12月	豊橋800は 6 0 4	7	A-2	モリタ	水1,500 ^{リットル} CAFS
大型高所放水車	日野	平成21年11月	豊橋800は 4 4 0	13	A-1	モリタ	2 5 m
泡原液搬送車	日野	平成12年 3月	豊橋800は 6 5	23	B-2	シバウラ	6,000 ^{リットル}
大型化学車	日野	平成28年 3月	豊橋800は 6 1 0	7	A-1	GMいちはら	2,000 ^{リットル}
資材搬送車	三菱	平成14年 9月	豊橋800さ 4 1 6 2	20			クレーン付
救急1号車	トヨタ	平成30年 9月	豊橋800す 1 6 3 1	4			高規格救急車
救急2号車	トヨタ	令和 3年12月	豊橋800す 2 8 7 0	1			高規格救急車
指 令 車	ニッサン	平成 9年 2月	豊橋88な 4 5 4 6	26			
広報1号車	トヨタ	平成16年 2月	豊橋800さ 5 1 6 9	19			愛知県共済生活協同組合 から寄贈を受ける

消防車両現況（消防団）

（令和5年4月1日現在）

所 属		種 別	車両 社名	登録年月	登録番号	経過 年数	ポンプ 性 能	ポンプ 社 名
東部分団	1号車	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	令和 4年 3月	豊橋800す 2 9 6 8	1	B-2	トーハツ
	2号車	普 通 ポンプ車	日野	平成22年 1月	豊橋800さ 8 4 7 1	13	A-2	モリタ
神戸分団	1号車	普 通 ポンプ車	トヨタ	平成29年 1月	豊橋800す 9 4 7	6	A-2	モリタ
	2号車	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	令和 5年 3月	豊橋800す 3 2 9 7	0	B-2	トーハツ
	3号車	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	平成26年 2月	豊橋800さ 9 8 9 6	9	B-2	トーハツ
南部分団	1号車	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	平成23年 2月	豊橋800さ 8 9 0 2	12	B-2	トーハツ
	2号車	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	令和 3年 3月	豊橋800す 2 5 8 8	2	B-2	トーハツ
野田分団	1号車	普 通 ポンプ車	トヨタ	平成15年 2月	豊橋830に 1 1 9	20	A-2	日本ドライ
	2号車	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	平成27年11月	豊橋800す 4 8 4	7	B-2	トーハツ
中部分団	1号車	普 通 ポンプ車	トヨタ	平成25年12月	豊橋800さ 9 8 5 3	9	A-2	モリタ
	2号車	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	平成23年 2月	豊橋800さ 8 9 0 1	12	B-2	トーハツ
童浦分団	1号車	普 通 ポンプ車	トヨタ	平成11年 7月	豊橋800さ 1 1 8 4	23	A-2	日本機械
	2号車	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	令和 2年 3月	豊橋800す 2 2 0 2	3	B-2	トーハツ
赤羽根分団	1号車	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	平成30年 1月	豊橋800す 1 3 8 2	5	B-2	トーハツ
	2号車	普 通 ポンプ車	トヨタ	平成16年 2月	豊橋800さ 5 1 8 3	19	A-2	モリタ
	3号車	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	平成31年 1月	豊橋800す 1 7 5 6	4	B-2	トーハツ
泉分団	1号車	普 通 ポンプ車	トヨタ	平成25年12月	豊橋800さ 9 8 5 2	9	A-2	モリタ
	2号車	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	令和 2年 3月	豊橋800す 2 2 0 3	3	B-2	トーハツ
福江分団	1号車	普 通 ポンプ車	トヨタ	平成24年 3月	豊橋800さ 9 2 5 2	11	A-2	モリタ
	2号車	普 通 ポンプ車	トヨタ	平成26年11月	豊橋800す 1 6 4	8	A-2	モリタ
	3号車	小型動力ポンプ 付軽自動車	ダイハツ	平成26年 3月	豊橋880あ 4 4 5	9	B-2	トーハツ
	4号車	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	平成25年 1月	豊橋800さ 9 5 4 1	10	B-2	トーハツ
伊良湖岬分団	1号車	普 通 ポンプ車	日野	平成22年 1月	豊橋800さ 8 4 7 2	13	A-2	モリタ
	2号車	多機能型 消防車	いすゞ	平成25年 2月	豊橋800さ 9 5 9 0	10	B-2	トーハツ
	3号車	多機能型 消防車	トヨタ	平成27年 2月	豊橋800す 2 5 6	8	B-2	トーハツ

消 防 水 利

(令和5年4月1日現在)

種別 区域別	防火水槽 (40 m ³ 以上)	消火栓 (150φ以上)	プール	計
東 部	74	52	2	128
神 戸	92	49	3	144
南 部	53	33	2	88
野 田	52	47	2	101
中 部	57	77	4	138
童 浦	53	107	1	161
赤羽根	80	42	4	126
泉	57	43	2	102
福 江	126	60	6	192
伊良湖岬	82	31	1	114
合 計	726	541	27	1,294

* 私設の防火水槽及び私設のプールは除く

消 防 職 員 配 置 状 況

(令和5年4月1日現在)

定 数	1 3 1 人
実 員	1 1 2 人

階級別 所属別		消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合計
消防本部	消 防 長	1							1
	次長兼消防課長		1						1
	消 防 課				2	2			4
	消 防 係				3	2			5
	予 防 課 長		1						1
	予 防 係				2			1	3
	危 険 物 係			1	1				2
	小 計	1	2	1	8	4		1	17
消防署	消 防 署 長		1						1
	指 揮 隊 長		3						3
	指 揮 第 1 係			1	1	1			3
	指 揮 第 2 係				3				3
	指 揮 第 3 係			1	1	1			3
	警 防 第 1 係			1	2	2		6	11
	警 防 第 2 係			1	2	2		6	11
	警 防 第 3 係				3	2		6	11
	小 計		4	4	12	8		18	46
赤羽根分署	分 署 長		1						1
	警 防 第 1 係			1	1	1		2	5
	警 防 第 2 係				2	2		1	5
	警 防 第 3 係			1	1	1		2	5
	小 計		1	2	4	4		5	16
渥美分署	分 署 長		1						1
	警 防 第 1 係			1	2	1		7	11
	警 防 第 2 係				4	1		6	11
	警 防 第 3 係				3	1		6	10
	小 計		1	1	9	3		19	33
合 計		1	8	8	33	19		43	112

消 防 職 員 特 技 資 格

(令和5年4月1日現在)

種 別 \ 階級別	消 防 監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	合 計
大型自動車免許	1	7	8	32	19		20	87
中型自動車免許							12	12
中型自動車免許（8 t 限定）		1		1				2
準中型自動車免許							4	4
普通自動車免許							7	7
小型船舶操縦士免許		5	6	26	14		18	69
特殊小型船舶操縦士免許		5	6	21	8		2	42
救急救命士免許	1	2	4	15	7		6	35
救急科講習（標準・Ⅱ課程）修了証		6	4	18	12		30	70
特殊無線技士免許	1	7	8	33	19		37	105
小型移動式クレーン修了証	1	7	7	31	19		29	94
玉掛け技能修了証	1	8	7	32	19		35	102
潜水土免許	1	5	7	31	16		24	84
危険物取扱者免状	1	4	3	14	7		6	35
消防設備士免状		1		1			1	3
酸欠・硫化水素危険作業主任者 修了証		1	1	4	1			7

消 防 職 員 年 齢

(令和5年4月1日現在)

階級別 種 別	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
18 歳							2	2
19 歳							1	1
20 歳							4	4
21 歳							3	3
22 歳							3	3
23 歳							4	4
24 歳							3	3
25 歳							4	4
26 歳							7	7
27 歳							4	4
28 歳							2	2
29 歳							5	5
30 歳					3			3
31 歳							1	1
32 歳					3			3
33 歳					2			2
34 歳					1			1
35 歳					3			3
36 歳					3			3
37 歳					3			3
38 歳					1			1
39 歳								
40 歳				1				1
41 歳				3				3
42 歳				2				2
43 歳				4				4
44 歳				2				2
45 歳				4				4
46 歳				3				3
47 歳				3				3
48 歳				3				3
49 歳			1	2				3
50 歳		1	2	2				5
51 歳			2	2				4
52 歳			2					2
53 歳		1		2				3
54 歳		1	1					2
55 歳		2						2
56 歳								
57 歳		1						1
58 歳	1	2						3
59 歳								
合 計	1	8	8	33	19		43	112

* 消防職員平均年齢 35.5歳

消 防 職 員 勤 続 年 数

(令和5年4月1日現在)

階級別 種 別	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
1年未満							4	4
1年							4	4
2年							2	2
3年							6	6
4年							8	8
5年							4	4
6年							3	3
7年							4	4
8年							3	3
9年					2		1	3
10年					4		4	8
11年					2			2
12年					3			3
13年					3			3
14年					4			4
15年					1			1
16年								
17年				1				1
18年				1				1
19年				2				2
20年								
21年				2				2
22年				3				3
23年			1	3				4
24年				5				5
25年			1	4				5
26年				1				1
27年								
28年			1	1				2
29年		1	2	3				6
30年			1	4				5
31年				1				1
32年			1					1
33年		1	1	1				3
34年				1				1
35年		2						2
36年								
37年		1						1
38年								
39年		1						1
40年	1	2						3
41年								
合 計	1	8	8	33	19		43	112

火

災

火 災 概 要

(令和4年)

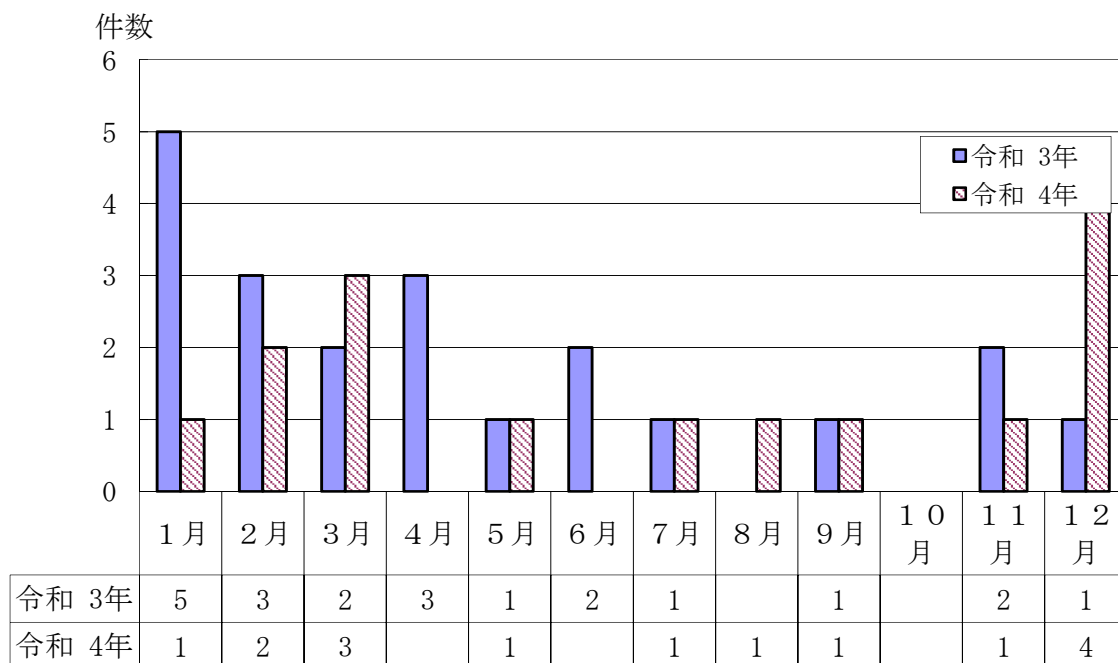
	合 計
火 災 件 数	1 5 件
建 物 火 災 件 数	7 件
林 野 火 災 件 数	0 件
車 両 火 災 件 数	2 件
船 舶 火 災	0 件
そ の 他 火 災 件 数	6 件
建 物 焼 損 面 積	1, 0 5 9 m ²
林 野 焼 損 面 積	0 a
焼 損 棟 数	1 0 棟
損 害 額	7 5, 1 8 2 千円
り 災 世 帯 数	4 世帯
り 災 人 数	1 6 人
死 者 数	1 人
負 傷 者 数	1 人

分 団 区域名	件数	内 訳		損害額 (千円)	分 団 区域名	件数	内 訳		損害額 (千円)
		種別	件数				種別	件数	
東部					童浦	1	建物	1	5, 059
神戸	3	建物	1	1, 720	赤羽根	3	建物	2	29, 337
		その他	2				車両	1	
南部	1	その他	1	0	泉	1	その他	1	0
野田					福江	3	建物	2	37, 684
							その他	1	
中部	2	建物	1	682	伊良湖岬	1	車両	1	700
		その他	1						

月別出火件数

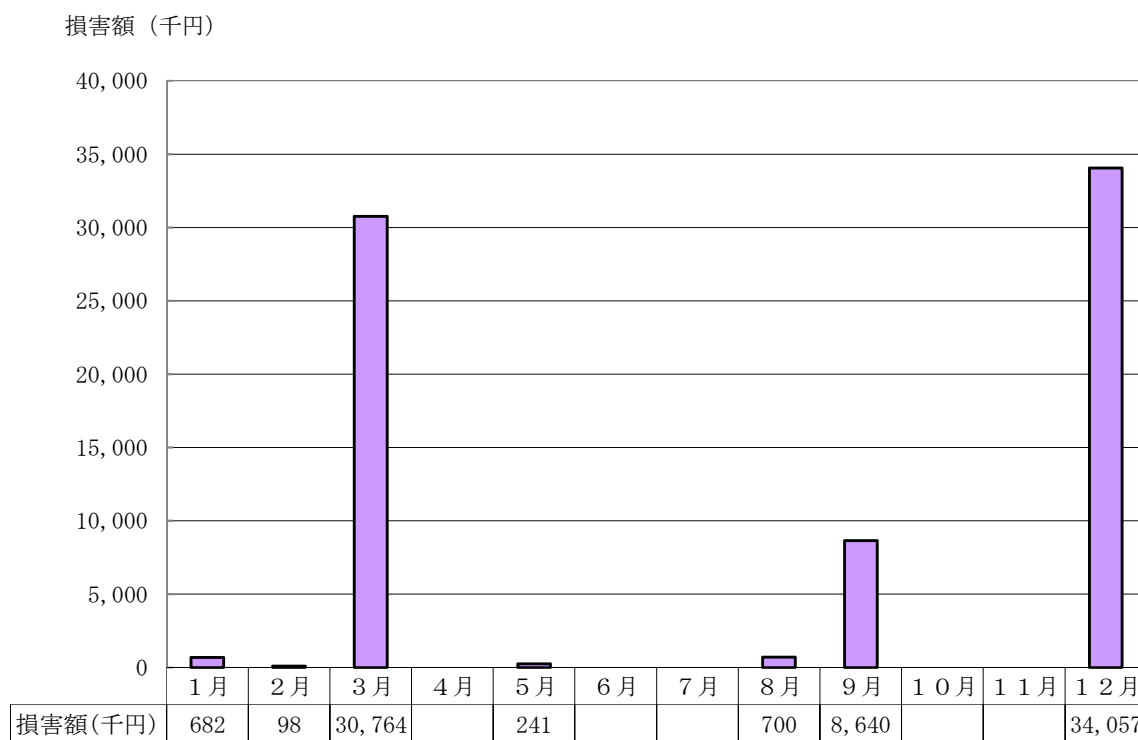
火災15件

(令和4年)



月別火災損害額

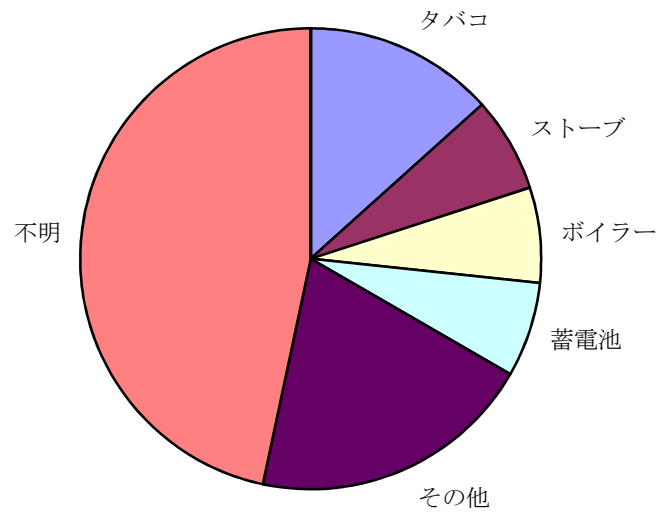
(令和4年)



原因別火災発生状況

(令和4年)

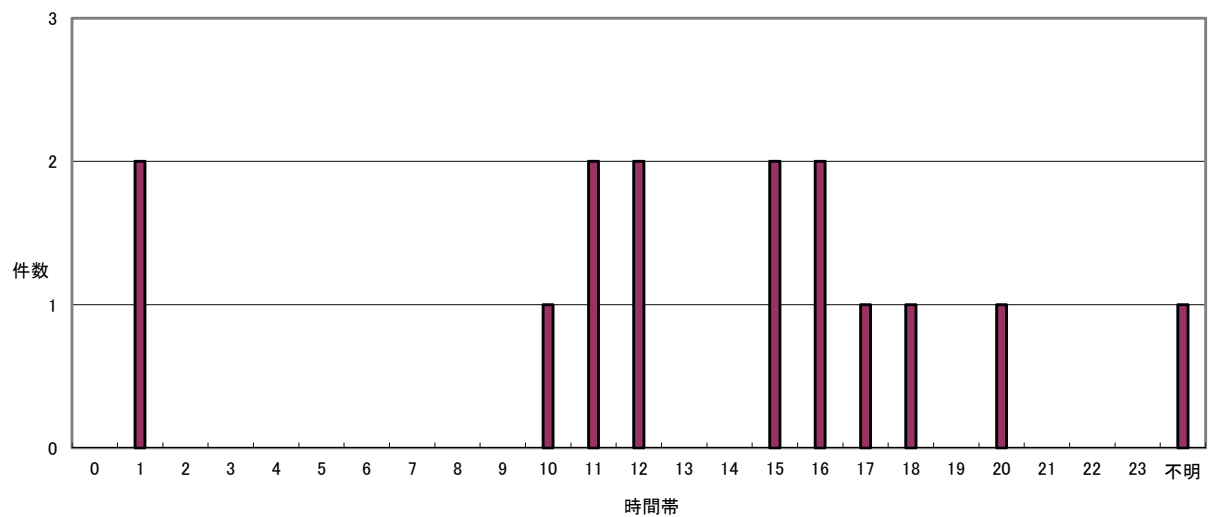
火災15件



タバコ	2	ストーブ	1	ボイラー	1
蓄電池	1	その他	3	不明	7

時間別火災発生状況

(令和4年)

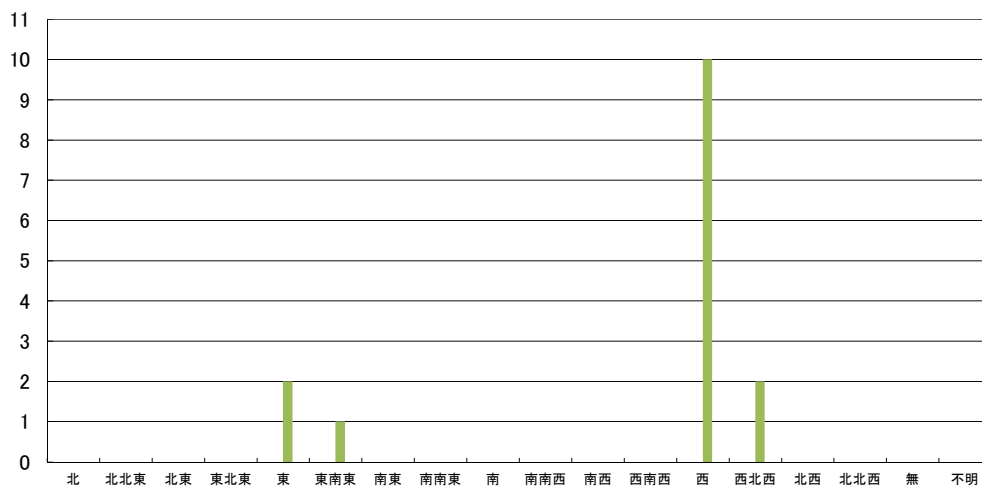


時間帯	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明
件数		2									1	2	2			2	2	1	1		1				1

風向別火災発生状況

火災 15 件

(令和 4 年)



風 向	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西	無	不明
件 数					2	1							10	2				

過去 5 年間の火災発生状況

年別	火災件数						建物焼損 床面積 (㎡)	林野焼損 面積 (a)	損害額 (千円)	り災世帯	り災人員	死者 (人)	負傷者 (人)
	計	建物	林野	車両	船舶	その他							
30	30	14	2	1		13	709	4	58,090	17	48		
31	27	13		2		12	413		46,499	5	18	2	4
2	18	10			1	7	683		74,849	6	9		3
3	21	11		2	2	6	736		374,407	6	14	1	
4	15	7		2		6	1059		75,182	4	16	1	1

救急・救助

過 去 5 年 間 の 救 急 件 数

事故種別 年別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
平成30年	16	1	23	166	32	20	362	8	19	1,695	147	2,489
平成31年	16		14	153	38	18	370	2	22	1,646	145	2,424
令和 2年	15		15	119	34	3	315	3	20	1,437	131	2,092
令和 3年	13		8	121	37	7	348	9	20	1,442	148	2,153
令和 4年	9		8	132	24	7	353	3	22	1,806	142	2,506

曜 日 別 救 急 出 動 件 数

(令和4年)

事故種別 曜日別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
月	1		1	14	2		44		4	276	23	365
火	3		1	16	8		56	1	4	244	27	360
水	1		1	11	4	3	50		2	256	21	349
木	2			23	4	1	45		1	272	16	364
金			1	30	3		50		3	253	29	369
土	1		1	20		1	50		5	248	17	343
日	1		3	18	3	2	58	2	3	257	9	356
合 計	9		8	132	24	7	353	3	22	1,806	142	2,506

分 団 区 域 別 救 急 出 場 件 数

(令和4年)

月分 区域別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
東 部	18	15	9	10	21	16	20	21	7	17	20	19	193
神 戸	34	16	33	19	31	26	29	41	21	15	32	23	320
南 部	10	18	14	13	15	8	15	15	14	4	11	7	144
野 田	6	13	10	6	6	10	10	9	8	4	7	4	93
中 部	21	27	26	39	29	30	39	51	31	26	26	31	376
童 浦	15	11	16	16	17	16	30	29	19	26	13	32	240
赤羽根	17	14	13	15	20	24	15	27	8	14	22	26	215
泉	19	16	18	14	20	12	15	20	14	12	7	14	181
福 江	47	48	47	39	39	44	49	49	49	45	50	52	558
伊良湖岬	20	16	15	12	9	14	17	15	19	16	18	14	185
管轄外					1								1
合 計	207	194	201	183	208	200	239	277	190	179	206	222	2,506

事 故 別 搬 送 人 員 の 傷 病 程 度

(令和4年)

事故種別 程度別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死 亡				2			5		5	85	1	98
重 症			1	7	5		37			130	26	206
中等症	1		1	15	2		97	1		607	62	786
軽 症				101	16	6	196	3	8	874	30	1,234
その他												
合 計	1		2	125	23	6	335	4	13	1,696	119	2,324

月 別 救 急 件 数

(令和4年)

事故種別 月別		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
1月	出場件数	1		1	13			26	1	1	151	13	207
	搬送人員				11			25	1		143	13	193
2月	出場件数				4	2	1	19		2	160	6	194
	搬送人員				3	2		19		1	146	5	176
3月	出場件数	3		3	14	1		29	1	2	134	14	201
	搬送人員	1			16	1		26	1	1	127	13	186
4月	出場件数				9	3		26		5	130	10	183
	搬送人員				7	3		22		4	121	7	164
5月	出場件数	1			9	2	1	34		1	147	13	208
	搬送人員				7	2	1	34		1	138	11	194
6月	出場件数				11	4	2	37		2	128	16	200
	搬送人員				12	4	2	36			123	14	191
7月	出場件数	1			20	4		30		1	165	18	239
	搬送人員				20	3		29			159	17	228
8月	出場件数			1	17	2	1	32		2	211	11	277
	搬送人員				16	2	1	30		1	191	8	249
9月	出場件数	1		1	9	2	1	26		3	136	11	190
	搬送人員				8	2	1	24		3	128	7	173
10月	出場件数				10	3	1	29		1	122	13	179
	搬送人員				10	3	1	27			115	9	165
11月	出場件数			1	6	1		32	1	2	151	12	206
	搬送人員			1	6	1		30	2	2	142	12	196
12月	出場件数	2		1	10			33			171	5	222
	搬送人員			1	9			33			163	3	209
合計	出場件数	9		8	132	24	7	353	3	22	1,806	142	2,506
	搬送人員	1		2	125	23	6	335	4	13	1,696	119	2,324

年 齢 区 分 別 搬 送 人 員

(令和4年)

事故種別 年齢区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新生児												
乳幼児				2			10			63	1	76
少 年				10		4	11		1	34	3	63
成 人			2	71	17	2	68	4	8	425	45	642
高齢者	1			42	6		246		4	1, 174	70	1, 543
合 計	1		2	125	23	6	335	4	13	1, 696	119	2, 324

覚 知 時 間 別 救 急 出 場 件 数

(令和4年)

事故種別 時間	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
0～2時			1	4	2		6		1	75	4	93
2～4時	1			2			9	1		75	1	89
4～6時			1	2	2		13		1	95	2	116
6～8時			1	9	1		33		2	174	2	222
8～10時				12	4		55		1	236	20	328
10～12時	1			15	5	2	38		1	194	29	285
12～14時	1		1	21	2	4	37	1		177	28	272
14～16時	2		2	22	5	1	47		1	174	20	274
16～18時	1			23	1		41		5	154	19	244
18～20時	2		2	16	2		36	1	3	188	10	260
20～22時	1			6			21		2	152	6	188
22～24時							17		5	112	1	135
合 計	9		8	132	24	7	353	3	22	1, 806	142	2, 506

現 場 到 着 所 要 時 間 別 出 場 件 数

時間 \ 年別	平成30年	平成31年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
3 分未満	167	127	146	101	111
3 ～ 5 分	133	122	74	56	75
5 ～10分	1, 404	1, 341	1, 093	1, 176	1, 331
10～20分	762	814	748	792	957
20分以上	23	20	31	28	32
合 計	2, 489	2, 424	2, 092	2, 153	2, 506
平均時間 (分)	8. 1	8. 2	8. 6	8. 8	8. 8

収 容 所 要 時 間 別 搬 送 人 員

時間 \ 年別	平成30年	平成31年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
10分未満					
10～20分	80	55	29	36	43
20～30分	577	609	444	462	545
30～60分	1, 506	1, 464	1, 299	1, 330	1, 504
60分以上	174	172	171	170	232
合 計	2, 337	2, 300	1, 943	1, 998	2, 324
平均時間 (分)	38. 6	38. 5	40. 3	40. 1	40. 7

過 去 5 年 間 の 救 助 件 数

事故種別 年 別	火 災		交通事故	水難事故	自然災害事故	機械による事故	建物による事故	ガス・酸欠事故	破裂事故	その他	合 計
	建 物	建物以外									
平成30年			12	18		3	3			6	42
平成31年			7	11			4			4	26
令和 2年	1		12	8		1	6			12	40
令和 3年	1		10	5		4	1			12	33
令和 4年	1		10	7		1	10			6	35

事 故 別 救 助 件 数

(令和4年)

事故種別		火 災		交通事故	水難事故	自然災害事故	機械による事故	建物による事故	ガス・酸欠事故	破裂事故	その他	合 計
		建 物	建物以外									
件数		1		10	7		1	10			6	35
活動件数		1		6	4		1	3			4	19
救助人員				7	4		1	3			5	20
活動人員		19		39	51		4	30			44	187
出動車両	救助工作車			8	4		1	8			3	24
	ポンプ車	6		10	4			2			5	27
	化 学 車											
	はしご車											
	救 急 車	1		15	7		1	10			7	41
	そ の 他	1		11	24		1	10			9	56

分 団 区 域 別 救 助 件 数

(令和4年)

事故種別 地区別	火 災		交通事故	水難事故	自然災害事故	機械による事故	建物による事故	ガス・酸欠事故	破裂事故	その他	合 計
	建物	建物以外									
東 部			4				2			1	7
神 戸			1				1				2
南 部							1			1	2
野 田											
中 部			1				2				3
童 浦			3	1		1	1			1	7
赤羽根	1			4			1			1	7
泉							1				1
福 江			1				1			2	4
伊良湖岬				2							2
管轄外											
合 計	1		10	7		1	10			6	35

時間帯別救助件数

(令和4年)

事故種別 発生時間	火 災		交通事故	水難事故	自然災害事故	機械による事故	建物による事故	ガス・酸欠事故	破裂事故	その他	合 計
	建 物	建 物 以 外									
0～1時				1							1
1～2時										1	1
2～3時											
3～4時											
4～5時											
5～6時											
6～7時			1				1				2
7～8時			1	1							2
8～9時							2			1	3
9～10時			1				1				2
10～11時											
11～12時			1				2			2	5
12～13時			2	1							3
13～14時							1			1	2
14～15時			1								1
15～16時	1			2		1	1				5
16～17時			1								1
17～18時			1								1
18～19時			1	1							2
19～20時				1							1
20～21時											
21～22時							1				1
22～23時										1	1
23～24時							1				1
合 計	1		10	7		1	10			6	35

予防・危険物

防火管理者を必要とする防火対象物数

(令和5年4月1日現在)

防火対象物の区分			甲種	乙種	合計
(1)	イ	劇場、映画館等			
	ロ	公会堂、集会場	43	113	156
(2)	イ	キャバレー等			
	ロ	遊技場等	2		2
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等			
	ニ	カラオケボックス等			
(3)	イ	料理店等			
	ロ	飲食店	34	46	80
(4)		百貨店、マーケット等	58	35	93
(5)	イ	旅館、ホテル等	27	1	28
	ロ	寄宿舍、共同住宅等	34		34
(6)	イ	病院・診療所・助産所	6		6
	ロ	特別養護老人ホーム等	16		16
	ハ	老人デイサービスセンター・保育園等	29		29
	ニ	幼稚園・特別支援学校			
(7)		小学校、中学校、高等学校等	28	6	34
(8)		図書館、博物館、美術館等	4	1	5
(9)	イ	蒸気浴場、熱気浴場等			
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場			
(10)		停車場、発着場等			
(11)		神社、寺院、教会等	27	6	33
(12)	イ	工場、作業場	24	1	25
	ロ	映画、テレビスタジオ			
(13)	イ	自動車車庫、駐車場			
	ロ	航空機等の格納庫			
(14)		倉庫	3	1	4
(15)		その他の事業所	35	8	43
(16)	イ	特定複合用途建物	56	8	64
	ロ	その他の複合用途建物			
(16の2)		地下街			
(17)		重要文化財等			
合 計			426	226	652

分 団 区 域 別 防 火 対 象 物 数 (150㎡以上)

(令和5年4月1日現在)

防火対象物の区分		区域別	東 部	神 戸	南 部	野 田	中 部	童 浦	赤 羽 根	泉	福 江	伊 良 湖 岬	合 計
(1)	イ	劇場、映画館等											
	ロ	公会堂、集会場	9	16	3	15	19	11	7	8	20	8	116
(2)	イ	キャバレー等											
	ロ	遊技場等		1							1		2
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等											
	ニ	カラオケボックス等											
(3)	イ	料理店等											
	ロ	飲食店	3	11	8	7	21	6	9	2	18	8	93
(4)		百貨店、マーケット等	10	22	9	2	20	5	11	4	30	2	115
(5)	イ	旅館、ホテル等	1	1			2	5	1	3	9	18	40
	ロ	寄宿舍、共同住宅等	7	67	44	6	142	82	11	3	44	7	413
(6)	イ	病院・診療所・助産所	2	7	5		7			2	4		27
	ロ	特別養護老人ホーム等	3	1		1	6	2	2	1	3		19
	ハ	老人デイサービスセンター・保育園等	4	4	8	1	7	2	8	2	9	3	48
	ニ	幼稚園・特別支援学校											
(7)		小学校、中学校、高等学校等	5	9	23	2	20	4	13	8	23	6	113
(8)		図書館、博物館、美術館等				1	3	1			2		7
(9)	イ	蒸気浴場、熱気浴場等											
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場										1	1
(10)		停車場、発着場等					1						1
(11)		神社、寺院、教会等	8	6	2	12	13	4	1	4	8	3	61
(12)	イ	工場、作業場	26	28	18	14	15	144	21	16	59	15	356
	ロ	映画、テレビスタジオ											
(13)	イ	自動車車庫、駐車場		2	5	1	8	2	1		4		23
	ロ	航空機等の格納庫											
(14)		倉庫	28	23	20	13	27	69	15	9	59	22	285
(15)		その他の事業所	15	24	20	14	40	135	21	17	55	11	352
(16)	イ	特定複合用途建物	8	13	9	4	32	4	7	4	10	9	100
	ロ	その他の複合用途建物	8	10	6	4	17	3	1	1	3		53
(16の2)		地下街											
(17)		重要文化財等											
合 計			137	245	180	97	400	479	129	84	361	113	2225

3 階 以 上 の 防 火 対 象 物 数

(令和5年4月1日現在)

区域別 階 別	東 部	神 戸	南 部	野 田	中 部	童 浦	赤 羽 根	泉	福 江	伊 良 湖 岬	合 計
3 階	5	17	11	4	70	23	11	6	29	8	184
4 階		14	4		8	22	1		4	8	61
5 階		1	1		3	10			1	1	17
6 階		1	1		3	4			1	1	11
7 階		2								1	3
8 階			1		1						2
9 階		1									1
10階					1						1
11階										1	1
合 計	5	36	18	4	86	59	12	6	35	20	281

火 災 予 防 の 普 及 指 導 状 況

(令和4年度)

区 分	上段欄：実施回数 下段欄：（ ）参加人数
防 火 指 導	34回 (2,669人)
消 防 署 見 学	23回
広 報 ・ 回 覧	2回
市内放送（同報装置）	8回
ポスター掲示	5回

消 防 用 設 備 等 設 置 届 状 況

(令和4年度)

区 分	件数
自 動 火 災 報 知 設 備	54
誘 導 灯 設 備	23
非 常 警 報 設 備	13
避 難 器 具 設 備	5
屋 内 消 火 栓 設 備	3
屋 外 消 火 栓 設 備	
ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	2
ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備	1
不 活 性 ガ ス 消 火 設 備	
水 噴 霧 消 火 設 備	
泡 消 火 設 備	
粉 末 消 火 設 備	2
火 災 通 報 装 置	2
消 防 用 水	
消 火 器 具	25
連 結 送 水 管	
連 結 散 水 設 備	
パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備	2
住 戸 用 自 動 火 災 報 知 設 備	
共 同 住 宅 用 非 常 警 報 設 備	
合 計	132

用途別建築同意件数

(令和4年度)

用途区分			件数
1	イ	劇場・映画館等	
	ロ	公会堂・集会場	
2	イ	キャバレー等	
	ロ	遊技場等	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	
	ニ	カラオケボックス等	
3	イ	料理店等	
	ロ	飲食店	2
4		百貨店・マーケット等	4
5	イ	旅館・ホテル等	1
	ロ	寄宿舍・共同住宅等	13
6	イ	病院・診療所・助産所	4
	ロ	特別養護老人ホーム等	
	ハ	老人デイサービスセンター・保育園等	
	ニ	幼稚園・特別支援学校	
7		小学校・中学校・高等学校等	2
8		図書館・博物館・美術館等	
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	
10		停車場・発着場等	2
11		神社・寺院・教会等	2
12	イ	工場・作業場	19
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ等	
13	イ	自動車車庫・駐車場	1
	ロ	航空機等の格納庫	
14		倉庫	16
15		その他の事業所	8
16	イ	特定複合用途建物	
	ロ	その他の複合用途建物	
16の2		地下街	
17		重要文化財等	
畜舎			1
その他			16
一般住宅			10
合計			101

分 団 区 域 別 危 険 物 施 設 数

(令和5年4月1日現在)

施設別 区域別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所					
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	地 下 タンク 貯蔵所	簡 易 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第一種 販売取 扱所	第二種 販売取 扱所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所
東 部	16		11	1	8			1	1		5	3				2
神 戸	26		18		7		4		6	1	8	4				4
南 部	15		10	2	4		1		3		5	4				1
野 田	7		5	1	3			1			2	2				
中 部	7		5			1	4				2	1				1
童 浦	115		72	18	25	17	11			1	43	15				28
赤 羽 根	20		13	1	2		3		7		7	4				3
泉	17		13		9		1		3		4	2				2
福 江	72		52	11	24	1	5		11		20	11			1	8
伊 良 湖 岬	13		8	1	1		5	1			5	3				2
合 計	308		207	35	83	19	34	3	31	2	101	49			1	51

過去 10 年間の危険物施設の推移

施設別 年度別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所					
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所
平成25年度	373		241	27	107	18	49	2	34	4	132	63			2	67
平成26年度	362		237	29	103	18	48	3	32	4	125	61			2	62
平成27年度	357		237	31	100	18	48	3	33	4	120	57			2	61
平成28年度	353		234	30	101	18	45	3	34	3	119	57			2	60
平成29年度	350		233	31	101	18	45	3	32	3	117	56			2	59
平成30年度	344		227	32	94	19	45	3	31	3	117	56			2	59
平成31年度	344		229	34	93	19	44	3	33	3	115	54			2	59
令和 2年度	339		227	34	92	19	44	3	33	2	112	53			2	57
令和 3年度	330		222	34	93	19	38	3	32	3	108	51			2	55
令和 4年度	308		207	35	83	19	34	3	31	2	101	49			1	51

倍 数 別 ・ 類 別 危 険 物 施 設 数

(令和5年4月1日現在)

施設別 区 分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所					
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	地 下 タンク 貯蔵所	簡 易 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第一種 販売取 扱所	第二種 販売取 扱所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所
5倍 以下	108		91	16	13	10	17	3	30	2	17	1				16
5倍を超え 10倍 以下	52		40	11	16	7	6				12	2				10
10倍を超え 50倍 以下	73		44	7	29	2	5		1		29	13				16
50倍を超え 100倍 以下	17		7		5		2				10	7				3
100倍を超え 150倍 以下	13		2	1			1				11	9				2
150倍を超え 200倍 以下	16		4		3		1				12	10				2
200倍を超え 1,000倍 以下	22		14		12		2				8	7				1
1,000倍を超え 5,000倍 以下	4		3		3						1				1	
5,000倍を超え 10,000倍 以下																
10,000倍 を 超えるもの	3		2		2						1					1
合 計	308		207	35	83	19	34	3	31	2	101	49			1	51
第 1 類																
第 2 類																
第 3 類																
第 4 類	307		206	34	83	19	34	3	31	2	101	49			1	51
第 5 類																
第 6 類																
混 在	1		1	1												
合 計	308		207	35	83	19	34	3	31	2	101	49			1	51

危険物施設許可・検査・承認状況

令和4年度

施設別 区分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所					
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	地 下 タンク 貯蔵所	簡 易 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所
設 置 許 可	11		4	1	3						7					7
変 更 許 可	132		17	1	4	5	6		1		115	8				107
設 置 完 成	2		1	1							1					1
変 更 完 成	105		16		5	4	6		1		89	8				81
仮使用承認	174		12	1	1	5	5				162	7				155

保 安 検 査	
仮 貯 蔵 仮 取 扱	5
水 張 検 査	1
水 圧 検 査	8

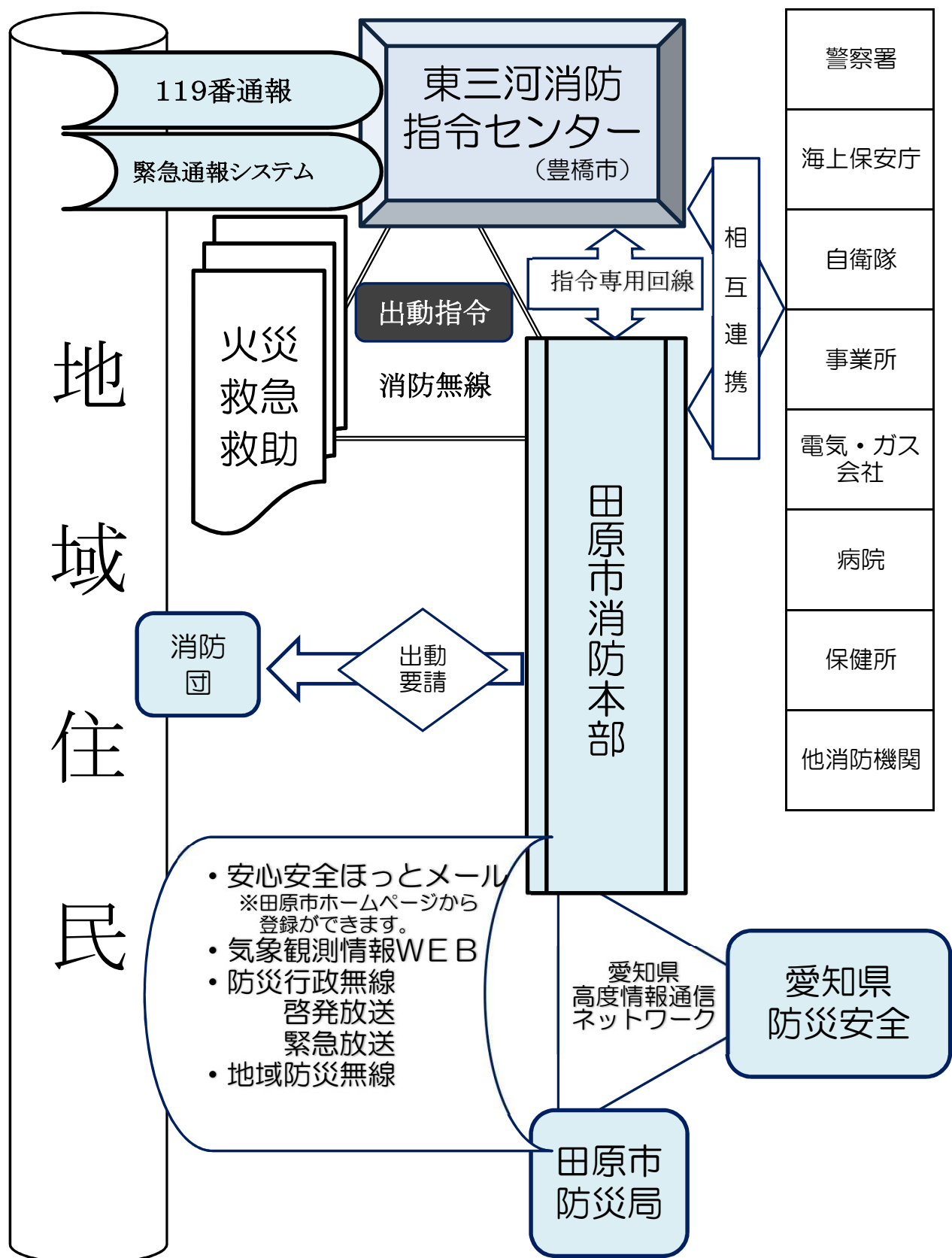
諸 届 出 状 況

(令和4年度)

届 出 区 分	件 数
防 火 対 象 物 使 用 開 始	33
水 素 ガ ス を 充 て ん す る 気 球	
火 災 と ま ぎ ら わ し い 行 為	81
煙 火 打 上 げ ・ 仕 掛 け	22
道 路 工 事	394
少 量 危 険 物 貯 蔵 ・ 取 扱 い 開 始 (廃 止)	23
圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス 等 貯 蔵 ・ 取 扱 い 開 始 (廃 止)	18
指 定 可 燃 物 貯 蔵 ・ 取 扱 い 開 始 (廃 止)	4
催 し 物 開 催	
炉 ・ ボ イ ラ ー 等 設 置	8
変 電 ・ 発 電 ・ 蓄 電 池 設 備 設 置	23
禁 止 行 為 の 解 除 承 認	
防 火 管 理 者 選 任 (解 任)	138
消 防 計 画 作 成 (変 更)	148
消 防 用 設 備 等 点 検 報 告	703
防 火 対 象 物 定 期 点 検 報 告	47
保 安 統 括 管 理 者 選 任 (解 任)	
保 安 監 督 者 選 任 (解 任)	86
危 険 物 製 造 所 等 廃 止	23
危 険 物 製 造 所 等 変 更	9
危 険 作 業 開 始	5
資 料 提 出	95
危 険 物 製 造 所 等 休 止 (再 開)	12
危 険 物 製 造 所 等 譲 渡 (引 渡)	
危 険 物 製 造 所 等 指 定 数 量 の 倍 数 変 更	3
合 計	1,875

通 信

消防防災ネットワーク



通 信 施 設 の 保 有 状 況

(令和5年4月1日現在)

種 別		数	摘 要
電話回線	一般加入電話	10	★代表電話4 F A X 3 ★順次指令用2 ★災害案内用1 ★印はISDN回線
	携帯電話	12	消防署2 赤羽根分署2 渥美分署2 指揮車1 救急車5
	衛星携帯電話	3	消防署1 赤羽根分署1 渥美分署1
愛知県 高度情報通信 ネットワーク	無線固定局	1	※ぼうさいたはらしょうぼう (消防署)
	衛星回線	1	消防署 (受令機)
消防用無線	基地局	デジタル	※たはらしょうぼうあかばね
			※たはらしょうぼうあつみ
			※とよはししょうぼう (共同運用)
		アナログ	1 ※ぼうたいあつみきち
	陸上 移動局	半固定 デジタル	4 消防本部1 消防署1 赤羽根分署1 渥美分署1
		車載 デジタル	31 消防本部3 消防署13 赤羽根分署5 渥美分署10
		携帯 デジタル	44 消防本部13 消防署15 赤羽根分署6 渥美分署10
			3 防災相互波 (消防署1 渥美分署2)
		車載 デジタル	25 消防団 (受令機)
		携帯 デジタル	19 消防団 (受令機)

※印は無線の呼び出し名称

1 1 9 番 着 信 状 況

(令和4年)

種別 月別	火 災	救 急	救 助	その他 災害	その他	いたずら	医療 情報	問合せ	間違い	テスト	訓 練	転 送	合 計
1 月	5	203	6	1	8		1	9	12	4	2		251
2 月	1	195		2	3		2	2	10	11	2		228
3 月	5	195	1	4	1		2	6	23	12	11	1	261
4 月		191	1	6	3	1		1	12	10	2	5	232
5 月	2	209	1	2	6	1	5	4	17	38	4	2	291
6 月		200	1	1	4		1	4	10	6	4		231
7 月	3	235	4	4	3	1	1	4	20	6	3	1	285
8 月	3	280	1	2	8		4	6	29	179	3		515
9 月	3	185	4	8	11	1	2	11	29	110	3		367
10月	2	187	3		1	1	1	7	17	9	4	2	234
11月	1	208	2	1	3		2	3	23	44	12	1	300
12月	6	226	3	2	6		3	6	17	7	9	3	288
計	31	2,514	27	33	57	5	24	63	219	436	59	15	3,483

消 防 団

消 防 団 員 数

(令和5年4月1日現在)

定 数	7 3 0 人
実 員	6 9 2 人

種類・階級 所 属	基 本							機能別	合 計
	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	団 員	
本 部	1	3			1	1	7	2	15
東部分団			1	1	2	4	35	18	61
神戸分団			1	1	3	6	27	38	76
南部分団			1	1	2	4	41	1	50
野田分団			1	1	2	4	53		61
中部分団			1	1	2	4	49	2	59
童浦分団			1	1	2	4	37	5	50
赤羽根分団			1	2	3	6	66	6	84
泉分団			1	1	2	4	32	20	60
福江分団			1	3	4	8	99		115
伊良湖岬分団			1	2	3	6	49		61
合 計	1	3	10	14	26	51	495	92	692

消 防 団 員 勤 続 年 数

(令和5年4月1日現在)

種類・階級 年 数	基 本 団 員							機能別 団 員	合 計
	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	団 員	
5 年未満			1	1	3	12	258	5	280
5 年以上 1 0 年未満		3	6	12	21	34	186	27	289
1 0 年以上 1 5 年未満	1		3	1	2	5	46	50	108
1 5 年以上 2 0 年未満							5	10	15
2 0 年以上 2 5 年未満									
2 5 年以上									
合 計	1	3	10	14	26	51	495	92	692

(＊機能別団員は、基本団員年数含む)

消 防 団 員 年 齢

(令和5年4月1日現在)

種類・階級 年 齢	基 本 団 員							機能別 団 員	合 計
	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	団 員	
19歳							1		1
20歳							1		1
22歳							12		12
23歳							10		10
24歳							20		20
25歳							32		32
26歳							44		44
27歳							42		42
28歳						2	47		49
29歳						1	53		54
30歳					1	14	45	1	61
31歳			2	3	5	10	42		62
32歳			2	3	6	14	34		59
33歳			6	8	13	9	49	2	87
34歳							20	15	35
35歳							17	13	30
36歳							10	10	20
37歳							7	14	21
38歳							2	5	7
39歳							2	13	15
40歳								6	6
41歳							1	5	6
42歳		1					1	4	6
43歳		1						2	3
44歳		1					1	1	3
45歳	1								1
49歳						1		1	2
52歳							1		1
53歳							1		1
56歳					1				1
合 計	1	3	10	14	26	51	495	92	692

*消防団員平均年齢

30.9歳

歷代消防役職者

歴代消防長・消防署長

消防長

代	氏 名	在 籍 期 間	備 考
初代	鈴木 泰	昭和47年 4月 1日～昭和50年 4月27日	町長兼務
2代	大谷 敏夫	昭和51年 1月 1日～昭和55年 3月31日	署長兼務
3代	寺田 康雄	昭和55年 4月 1日～昭和57年 3月31日	署長兼務
4代	渥美 昌夫	昭和57年 4月 1日～昭和58年 5月31日	
5代	松井 直	昭和58年 6月 1日～昭和59年 3月31日	
6代	鈴木 誠	昭和59年 4月 1日～平成 2年 3月31日	
7代	尾原 昇一郎	平成 2年 4月 1日～平成 7年 3月31日	
8代	鈴木 眞一郎	平成 7年 6月 1日～平成 9年 3月31日	
9代	河合 直樹	平成 9年 4月 1日～平成13年 3月31日	
10代	山田 憲一	平成13年 4月 1日～平成14年 3月31日	
11代	鈴木 利雄	平成14年 4月 1日～平成20年 3月31日	
12代	立岩 正昭	平成20年 4月 1日～平成21年 3月31日	
13代	小川 道夫	平成21年 4月 1日～平成23年 3月31日	
14代	寺田 幸弘	平成23年 4月 1日～平成25年 3月31日	
15代	大根 義久	平成25年 4月 1日～平成28年 3月31日	
16代	大場 広之	平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日	
17代	三浦 修司	平成29年 4月 1日～平成31年 3月31日	
18代	山田 憲男	平成31年 4月 1日～令和 3年 3月31日	
19代	小山 光晴	令和 3年 4月 1日～令和 5年 3月31日	
20代	浪崎 智彰	令和 5年 4月 1日～現在に至る	

消防署長

代	氏 名	在 籍 期 間	備 考
初代	大谷 敏夫	昭和47年 4月 1日～昭和54年11月30日	昭和51年1月1日から 消防長兼務
2代	寺田 康雄	昭和54年12月 1日～昭和57年 3月31日	昭和55年4月1日から 消防長兼務
3代	河合 直樹	昭和57年 4月 1日～昭和63年 3月31日	消防次長兼務
4代	尾原 昇一郎	昭和63年 4月 1日～平成 2年 3月31日	消防次長兼務
5代	彦坂 善弘	平成 2年 4月 1日～平成 6年 3月31日	消防次長兼務
6代	別所 克巳	平成 6年 4月 1日～平成11年 3月31日	消防次長兼務
7代	藤江 安文	平成11年 4月 1日～平成20年 3月31日	平成17年10月1日から 消防次長兼務
8代	寺田 幸弘	平成20年 4月 1日～平成23年 3月31日	
9代	杉原 護	平成23年 4月 1日～平成24年 3月31日	消防次長兼務
10代	藤城 義徳	平成24年 4月 1日～平成27年 3月31日	
11代	大場 広之	平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日	
12代	鈴木 常雄	平成28年 4月 1日～平成30年 3月31日	平成29年4月1日から 消防次長兼務
13代	岡本 長佳	平成30年 4月 1日～令和 2年 3月31日	
14代	小山 光晴	令和 2年 4月 1日～令和 3年 3月31日	
15代	鈴木 智博	令和 3年 4月 1日～令和 4年 3月31日	
16代	浪崎 智彰	令和 4年 4月 1日～令和 5年 3月31日	消防次長兼務
17代	小林 史明	令和 5年 4月 1日～現在に至る	

歴代消防団正副団長

団長

氏 名	在 籍 期 間	備 考
山 田 一 美	昭和30年 1月 1日～昭和38年 2月 2日	
河 合 主 税	昭和38年 5月11日～昭和42年 5月10日	
亀 井 明 之	昭和42年 5月11日～平成元年 6月 7日	
河 合 信 一	平成元年 6月 8日～平成 5年 6月 7日	
渡 邊 佳 成	平成 5年 6月 8日～平成 7年 6月 7日	
河 合 義 次	平成 7年 6月 8日～平成10年 8月17日	
亀 田 俊 春	平成10年10月 1日～平成13年 3月31日	
加 子 吉 主	平成13年 4月 1日～平成18年 3月31日	
眞 木 泰 弘	平成18年 4月 1日～平成20年 3月31日	
今 泉 隆 一	平成20年 4月 1日～平成24年 3月31日	
榊 原 源 一	平成24年 4月 1日～平成26年 3月31日	
瓜 生 陽 一	平成26年 4月 1日～平成28年 3月31日	
鈴 木 辰 也	平成28年 4月 1日～平成30年 3月31日	
大 河 寿 文	平成30年 4月 1日～令和 2年 3月31日	
中 神 通 文	令和 2年 4月 1日～令和 4年 3月31日	
小 林 篤 史	令和 4年 4月 1日～現在に至る	

副団長

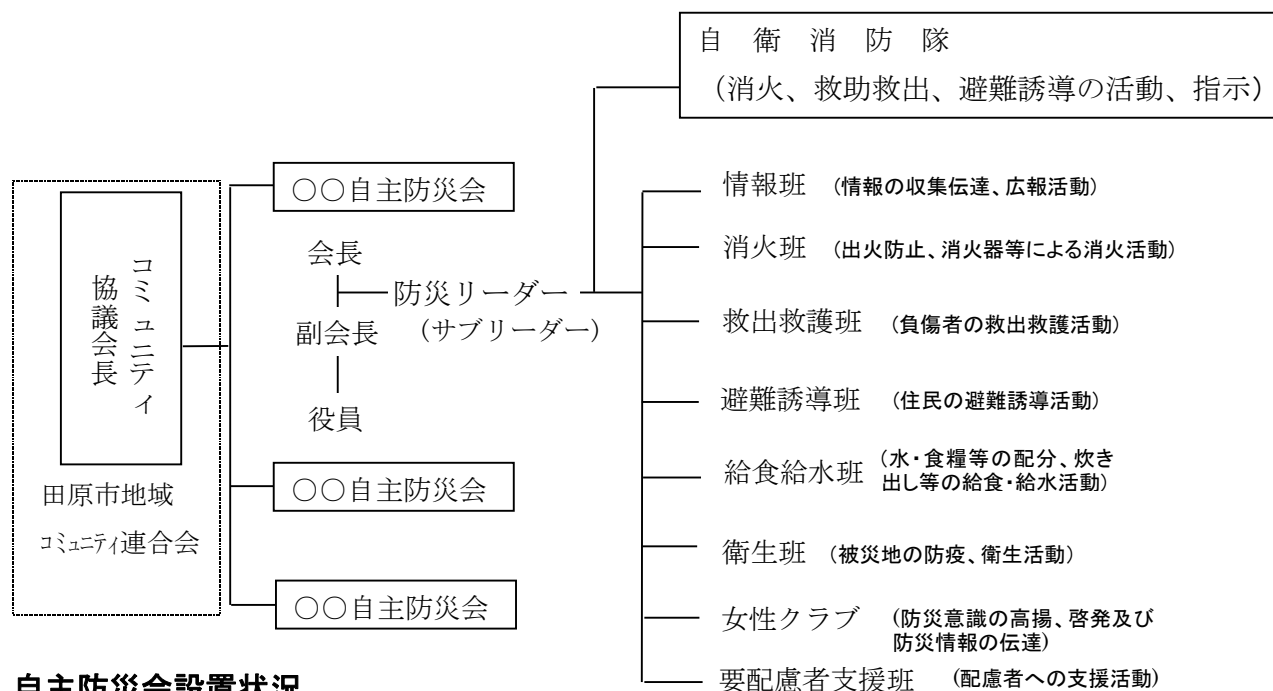
氏 名	在 籍 期 間	備 考
河 合 正	昭和30年 1月 1日～昭和34年 3月31日	
鈴 木 眞 次	昭和30年 1月 1日～昭和31年 5月 8日	
山 田 武 雄	昭和30年 1月 1日～昭和32年 4月 1日	
清 水 輝 一	昭和30年 1月 1日～昭和34年 3月31日	
大 羽 弘	昭和31年 5月 8日～昭和33年 3月31日	
菰 田 勇 雄	昭和32年 4月10日～昭和40年 3月31日	
河 合 善 嗣	昭和33年 4月 1日～昭和38年 5月11日	
河 合 主 税	昭和34年 4月 1日～昭和36年 4月26日	
西 山 修	昭和34年 4月 1日～昭和36年 4月26日	
林 健	昭和36年 4月26日～昭和38年 5月11日	
大 河 寛 一	昭和36年 4月26日～昭和38年 5月11日	
亀 井 明 之	昭和38年 5月11日～昭和42年 5月10日	
大 谷 敏 夫	昭和38年 5月11日～昭和46年 8月31日	

菰田 賢一郎	昭和42年 5月11日～昭和50年 5月10日	
福井 武一郎	昭和50年 5月11日～昭和62年 5月10日	
河合 信一	昭和62年 7月 7日～平成元年 6月 7日	
渡邊 保政	平成元年 6月30日～平成 5年 6月29日	
富田 雅則	平成 5年 6月30日～平成 7年 6月29日	
亀田 俊春	平成 7年 6月30日～平成10年 9月30日	
鈴木 利仁	平成10年10月 1日～平成11年 3月31日	
加子 吉主	平成11年 4月 1日～平成13年 3月31日	
眞木 泰弘	平成13年 4月 1日～平成18年 3月31日	
鈴木 啓	平成15年 8月20日～平成18年 3月31日	平成14年4月1日から 赤羽根町消防団副団長
杉浦 弘樹	平成17年10月 1日～平成19年 3月31日	平成17年4月1日から 渥美町消防団副団長
今泉 隆一	平成18年 4月 1日～平成20年 3月31日	
渡邊 邦通	平成18年 4月 1日～平成22年 3月31日	
宮本 智弘	平成19年 4月 1日～平成23年 3月31日	
榊原 源一	平成20年 4月 1日～平成24年 3月31日	
杉原 正仁	平成22年 4月 1日～平成24年 3月31日	
石川 易	平成23年 4月 1日～平成25年 3月31日	
瓜生 陽一	平成24年 4月 1日～平成26年 3月31日	
中村 一徳	平成24年 4月 1日～平成26年 3月31日	
渡會 祥三	平成25年 4月 1日～平成27年 3月31日	
鈴木 辰也	平成26年 4月 1日～平成28年 3月31日	
土井 文好	平成27年 4月 1日～平成29年 3月31日	
近藤 之彦	平成26年 4月 1日～平成30年 3月31日	
大河 寿文	平成28年 4月 1日～平成30年 3月31日	
盛田 哲成	平成29年 4月 1日～平成31年 3月31日	
中神通 文	平成30年 4月 1日～令和 2年 3月31日	
渡會 晃敏	平成30年 4月 1日～令和 2年 3月31日	
田中正 規	平成31年 4月 1日～令和 3年 3月31日	
小林 篤史	令和 2年 4月 1日～令和 4年 3月31日	
伊奈 継人	令和 2年 4月 1日～令和 4年 3月31日	
川口 広満	令和 3年 4月 1日～令和 5年 3月31日	
河合 真樹	令和 4年 4月 1日～現在に至る	
渡邊 真希	令和 4年 4月 1日～現在に至る	
岩田 周	令和 5年 4月 1日～現在に至る	

附 属 資 料

防 災

自主防災会の組織（例）



自主防災会設置状況

コミュニティ協議会	自主防災会	組織数
六連	長上、久美原、浜田、百々、新浜	5
神戸	川岸、漆田一区、漆田二区、漆田三区、東赤石、サンコート、市場、青津、希望が丘、赤松、志田、新美、南町、谷ノ口、東ヶ谷	15
大草	大草	1
田原東部	相川、谷熊、やぐま台、豊島、御殿山	5
田原南部	大久保	1
童浦	吉胡、木綿台、吉胡台、浦、西浦、波瀬、姫見台、片浜、白谷、光崎、片西童台	12
田原中部	一番東、一番西、三番組、四番組東、四番組西、四番組南、蔵王東ヶ丘、蔵王南ヶ丘、萱町、本町、新町	11
衣笠	加治、衣笠、八軒家、藤七原、鎌田、東滝頭、赤石	7
野田	芦、南、彦田、雲明、保井、東馬草、山ノ神、西馬草、今方、北海道、野田市場、仁崎、ほとと台	13
高松	高松	1
赤羽根	赤羽根東、赤羽根中、赤羽根西	3
若戸	池尻、若見、越戸	3
和地	和地、土田	2
堀切	堀切、小塩津	2
伊良湖	伊良湖、日出	2
亀山	亀山、西山	2
中山	中山、小中山	2
福江	長沢、福江、保美、向新	4
清田	山田、高木、折立、古田	4
泉	宇津江、江比間、八王子、村松、馬伏、伊川津、石神、夕陽が浜	8
合 計		103

地震災害避難場所

番号	コミュニティ 協議会	地震避難場所名	避難地区名
1	六連	六連小学校運動場	長上、久美原、浜田、百々、新浜
2	神戸	東部中学校運動場	川岸、漆田一区、漆田二区、漆田三区、神戸市場
3	神戸	愛知みなみ農協ふれあい支店前広場	東赤石、サンコート
4	神戸	神戸小学校運動場	青津、希望が丘、赤松、志田、新美、南町、谷ノ口、東ヶ谷
5	大草	大草小学校運動場	大草、大草団地
6	田原東部	田原東部市民館前広場	相川、谷熊、やぐま台
7	田原東部	田原東部小学校運動場	豊島、御殿山
8	田原南部	田原南部市民館前広場	大久保
9	童浦	童浦小学校運動場	吉胡、木綿台、吉胡台、片浜、白谷、片西
10	童浦	童浦市民館前広場	浦、童台
11	童浦	笠山農村広場	西浦、波瀬、姫見台、光崎
12	田原中部	田原中学校運動場	巴江
13	田原中部	田原中部小学校運動場	萱町
14	田原中部	成章高校運動場	本町、新町
15	衣笠	衣笠小学校運動場	加治、衣笠、八軒家、藤七原、鎌田、東滝頭、赤石
16	野田	芦ヶ池農業公園サンテ ドーム前広場	芦
17	野田	ふるさと教育センター 屋外運動場	南、彦田、雲明、野田市場
18	野田	野田小学校運動場	保井、東馬草、山ノ神、西馬草、今方、北海道、仁崎、ほると台
19	高松	高松小学校運動場	高松
20	赤羽根	赤羽根中学校運動場	赤東、赤中、赤西
21	若戸	若戸小学校運動場	池尻、若見、越戸
22	和地	和地市民館前広場	和地、土田
23	堀切	伊良湖岬小学校運動場	小塩津、和地一色
24	堀切	渥美運動公園野球場	堀切
25	伊良湖	旧伊良湖小学校運動場	伊良湖、日出
26	亀山	亀山小学校運動場	亀山、西山
27	中山	中山小学校運動場	小中山
28	中山	福江中学校運動場	中山、向山、福江の一部
29	福江	福江小学校運動場	長沢、福江の一部を除く、保美
30	清田	清田小学校運動場	山田、高木、折立、古田
31	泉	泉小学校運動場	江比間（紺屋川以西）、伊川津、石神、夕陽が浜
32	泉	泉市民館前広場	宇津江、江比間（紺屋川以東）、八王子、村松、馬伏

地震避難所

番号	コミュニティ 協議会	地震避難所施設名	避難地区名
1	六連	六連小学校	長上、久美原、浜田、百々、新浜
2	神戸	東部中学校	川岸、漆田一区、漆田二区、漆田三区、神戸市場
3	神戸	神戸市民館	東赤石、サンコート
4	神戸	神戸小学校	青津、希望が丘、赤松、志田、新美、南町、 谷ノ口、東ヶ谷
5	大草	大草小学校	大草、大草団地
6	田原東部	田原東部市民館	相川、谷熊、やぐま台
7	田原東部	田原東部小学校	豊島、御殿山
8	田原南部	田原南部市民館	大久保
9	童浦	童浦小学校	吉胡、木綿台、吉胡台、片浜、白谷、片西、西浦、 波瀬、姫見台
10	童浦	童浦市民館、浦区事務所	浦、光崎、童台
11	田原中部	田原中学校	巴江
12	田原中部	田原中部小学校	萱町
13	田原中部	成章高校	本町、新町
14	衣笠	衣笠小学校	加治、衣笠、八軒家、藤七原、鎌田、東滝頭、 赤石
15	野田	芦ヶ池農業公園サント ーム	芦
16	野田	野田小学校	南、彦田、雲明、保井、東馬草、山ノ神、西馬草、 今方、北海道、野田市場、仁崎、ほると台
17	高松	高松小学校	高松
18	赤羽根	赤羽根中学校	赤東、赤中、赤西
19	若戸	若戸市民館	池尻、若見、越戸
20	和地	和地市民館	和地、土田
21	堀切	伊良湖岬小学校	小塩津、和地一色
22	堀切	渥美運動公園体育館	堀切
23	伊良湖	伊良湖市民館	伊良湖、日出
24	亀山	亀山小学校	亀山、西山
25	中山	中山小学校 ※第1次	小中山
26	中山	福江中学校	中山、向山、福江の一部
27	福江	福江小学校	長沢、福江の一部を除く、保美
28	清田	清田小学校	山田、高木、折立、古田
29	泉	泉小学校 ※第1次	江比間（紺屋川以西）、伊川津、石神、夕陽が浜
30	泉	泉市民館 ※第1次	宇津江、江比間（紺屋川以東）、八王子、村松、 馬伏
31		渥美文化会館 ※第2次	小中山、宇津江、江比間、石神、夕陽が浜
32		福江高校体育館 ※第2次	八王子、村松、馬伏、伊川津

風水害避難所

番号	コミュニティ 協議会	風水害避難所施設名	避難コミュニティ協議会名
1	六連	六連市民館	六連
2	神戸	神戸市民館	神戸
3	大草	大草市民館	大草
4	田原東部	田原東部市民館	田原東部
5	田原南部	田原南部市民館	田原南部
6	童浦	童浦市民館	童浦
7	田原中部	華山会館	田原中部
8	衣笠	衣笠市民館	衣笠
9	野田	野田市民館	野田
10	高松	高松市民館	高松
11	赤羽根	赤羽根市民館	赤羽根
12	若戸	若戸市民館	若戸
13	和地	和地市民館	和地
14	堀切	堀切市民館	堀切
15	伊良湖	伊良湖市民館	伊良湖
16	亀山	亀山市民館	亀山
17	中山	中山市民館	中山
18	福江	福江市民館	福江
19	清田	清田市民館	清田
20	泉	泉市民館	泉

飲料水兼用耐震性貯水槽整備状況

設置年度	容 量	設置場所
平成 7 年度	1 0 0 t ・ 1 0 0 t	田原中学校・中山市民館
平成 8 年度	6 0 t ・ 6 0 t	田原福祉センター・旧福江市民館
平成 1 0 年度	6 0 t	泉小学校
平成 1 1 年度	6 0 t	神戸市民館
平成 1 4 年度	6 0 t	田原中部市民館
平成 1 5 年度	6 0 t	セントファール
平成 1 7 年度	6 0 t	赤羽根市民館
平成 2 0 年度	6 0 t	童浦市民館
合 計	6 8 0 t	1 0 か所

コミュニティ協議会可搬式小型動力ポンプ配置状況

コミュニティ 協議会	配 置 地 区	配置台数
神戸	川岸、漆田二区、漆田三区、東ヶ谷	4
田原東部	やぐま台、豊島	2
童浦	吉胡、浦、波瀬、片浜、白谷	5
田原中部	巴江町内会、萱町町内会、本町、新町	4
衣笠	加治、八軒家、藤七原	3
野田	芦、南、東馬草・西馬草（共有管理）	3
赤羽根	赤羽根中	1
堀切	堀切	1
中山	中山、小中山	2
福江	福江	1
泉	宇津江、江比間、八王子、伊川津、石神	5
合 計		3 1

防災行政無線設備設置状況

種 別	装 置	数量	設 置 場 所 又 は 常 置 場 所
固定系	親局	1	田原市役所
	中継局	1	大山中継局
	子局	2 5 1	市内 2 5 1 か所（内回転灯付 3 6 か所）
	地区遠隔装置	1	田原市役所
	遠隔制御器	1	田原市消防署
	全国瞬時警報システム （J－A L E R T）	1	田原市役所
デジタル 地域 防災無線	統制局	1	市役所
	固定局	4	市役所、蔵王山、赤羽根文化の森、大山
	基地局	3	蔵王山、赤羽根文化の森、大山
	移動局（半固定型）	6 6	
	移動局（携帯型）	1 1 7	
	移動局（車載型）	1	
	統制局用遠隔制御装置	6	市役所内

気象

気象観測点：田原市消防署

月 別 日 平 均 風 速

(令和4年 日平均)

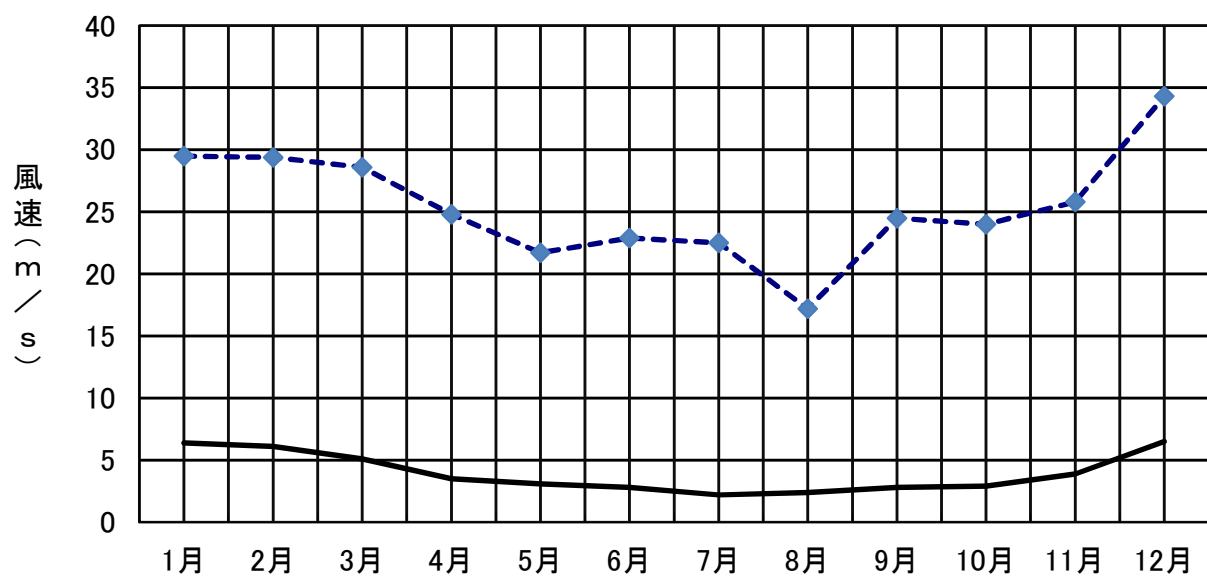
月別 風速	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
0.5m/s以下							1						1
0.6～1.5				4	8	4	8	5	9	10	2		50
1.6～2.5		1	7	10	9	14	17	15	11	8	10	2	104
2.6～3.5	3	6	5	2	3	6	2	6	3	2	5	1	44
3.6～4.5	7	2	5	6	1	3	1	3	3	3	4	5	43
4.6～5.5	4	2	2	4	4	1		2	1	4	3	3	30
5.6～6.5	2	5	4	2	5	1	1			3	3	5	31
6.6～7.5	5	3	1	1	1				1			3	15
7.6～8.5	3	4	2				1		1			5	16
8.6m/s以上	7	5	5	1		1			1	1	3	7	31
合 計	31	28	31	30	31	30	31	31	30	31	30	31	365

月 別 風 速 状 況

(令和4年)

年間平均風速 4.0 m/s

—◆— 最大瞬間風速 — 月平均風速



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最大瞬間風速	29.5	29.4	28.6	24.8	21.7	22.9	22.5	17.2	24.5	24.0	25.8	34.3
月平均風速	6.4	6.1	5.1	3.5	3.1	2.8	2.2	2.4	2.8	2.9	3.9	6.5

月 別 風 向 頻 度 (%)

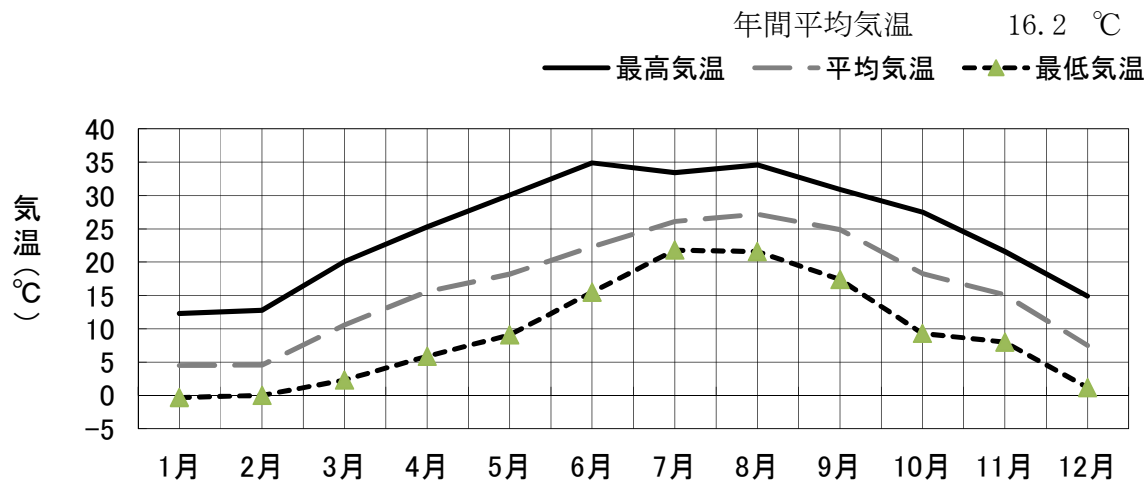
(令和4年)

月 別 区 分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
北	0.0	0.1	0.4	0.7	0.5	0.2	0.5	0.4	0.6	1.5	0.9	0.1
北北東	0.0	0.0	0.2	0.5	0.2	0.4	0.3	0.4	0.3	0.8	0.3	0.0
北東	0.0	0.0	0.5	1.1	0.7	1.2	1.7	1.1	1.0	1.0	0.3	0.1
東北東	0.0	0.2	1.3	3.6	3.9	4.3	7.4	5.1	3.6	2.3	1.6	0.3
東	0.0	0.5	7.3	9.4	14.7	18.7	12.7	16.2	21.6	6.7	6.4	1.2
東南東	0.1	0.2	2.6	8.8	8.5	10.2	12.7	10.4	19.3	3.4	4.3	0.4
南東	0.3	0.2	0.3	3.6	5.7	6.9	11.0	8.2	6.5	1.2	1.0	0.1
南南東	0.0	0.1	0.3	2.8	1.6	4.8	5.8	3.8	1.8	0.9	0.3	0.0
南	0.0	0.0	0.8	1.7	0.7	2.2	2.7	2.0	0.6	0.6	0.3	0.0
南南西	0.0	0.1	1.6	2.0	1.1	3.3	3.0	1.7	0.9	0.6	0.3	0.0
南西	0.0	0.1	0.7	0.8	1.3	2.8	1.4	1.5	0.7	0.3	0.2	0.2
西南西	0.4	0.3	1.4	1.3	1.8	2.1	1.4	1.6	0.9	0.9	0.7	0.9
西	60.4	57.4	50.3	26.9	27.1	17.2	14.2	19.5	11.8	26.1	40.6	57.2
西北西	33.7	33.6	21.2	17.2	11.8	10.2	6.1	11.1	9.2	26.0	24.8	34.2
北西	2.7	3.8	5.3	7.7	4.0	2.9	2.1	3.3	4.2	8.9	7.4	2.8
北北西	0.1	0.4	0.5	2.7	1.0	0.8	0.7	0.7	1.5	3.1	1.5	0.2
静穏	2.3	3.0	5.3	9.2	15.4	11.8	16.3	13.0	15.5	15.7	9.1	2.3

※ 静穏とは、ほとんど無風の状態(風速0.3m/s未満)

月別気温状況

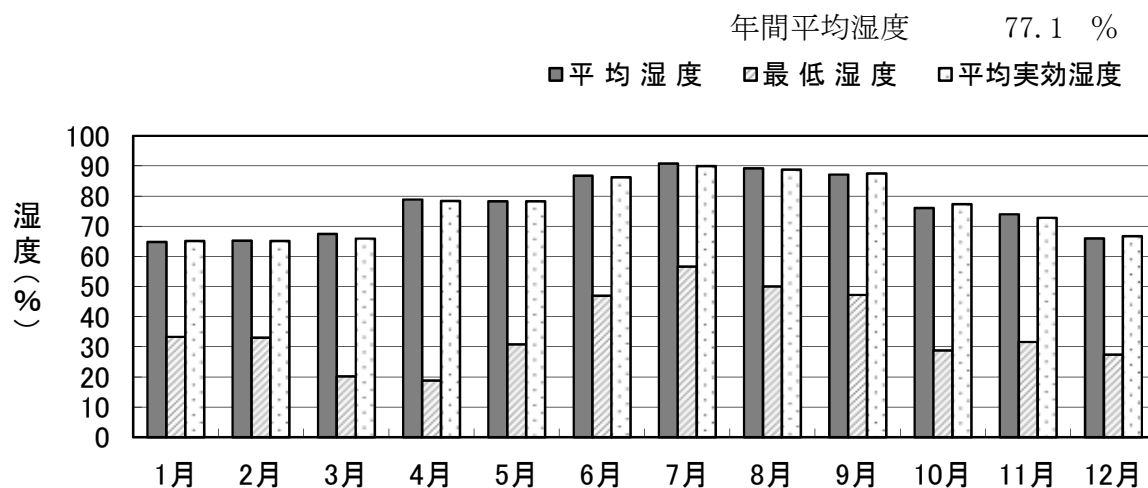
(令和4年)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温	12.3	12.8	20.1	25.3	30.1	34.9	33.4	34.6	30.9	27.5	21.6	14.9
平均気温	4.5	4.6	10.6	15.6	18.2	22.3	26.1	27.2	24.9	18.3	15.1	7.5
最低気温	-0.3	0.0	2.3	5.9	9.1	15.5	21.8	21.6	17.4	9.3	8.0	1.2

月別湿度状況

(令和4年)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均湿度	64.8	65.2	67.5	78.9	78.3	86.7	90.8	89.2	87.1	76.1	74.0	66.0
最低湿度	33.3	33.0	20.2	18.8	30.8	46.9	56.6	50.0	47.2	28.8	31.6	27.4
平均実効湿度	65.1	65.1	65.9	78.4	78.3	86.2	90.0	88.8	87.5	77.3	72.8	66.7

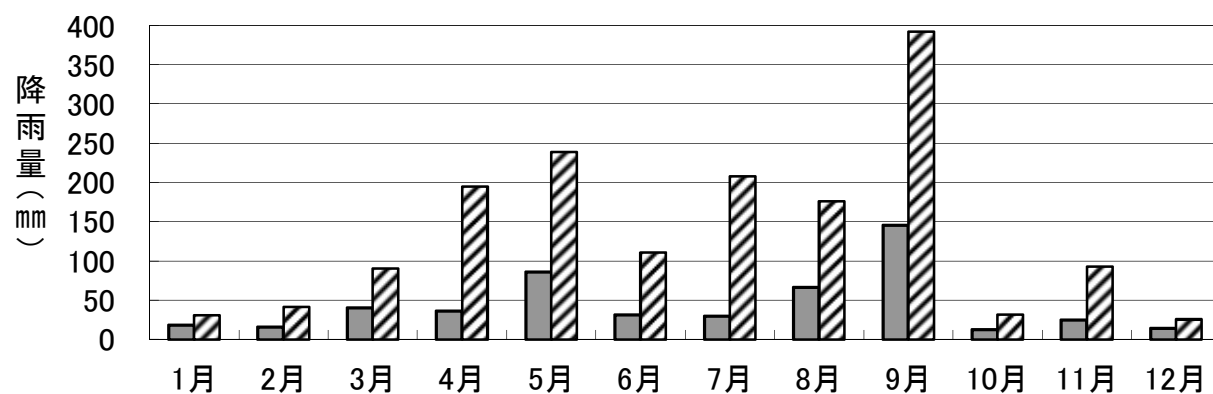
※実効湿度：木材の乾燥の程度を表す指数で、数日前からの湿度を考慮に入れて計算する。
実効湿度が50～60%以下になると火災の危険性が高まる。

月 別 降 雨 状 況

(令和4年)

年間総雨量 1,630.5 mm

■日最高雨量 ■月総降雨量



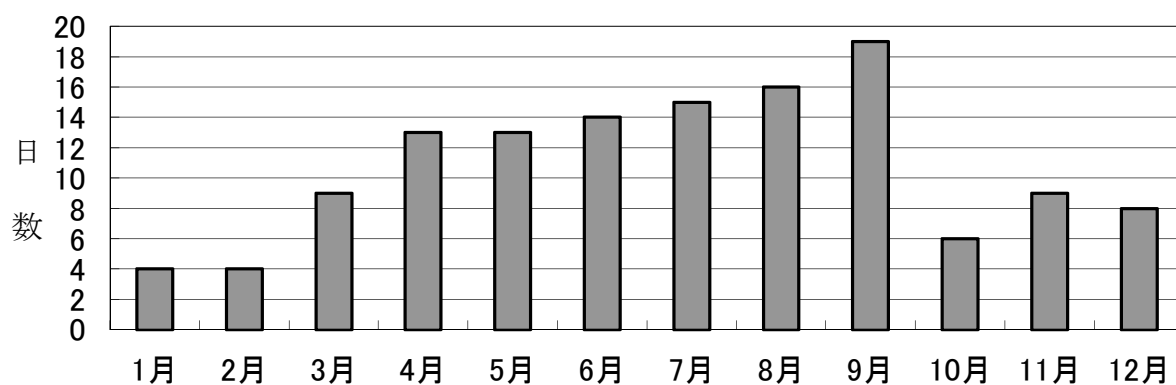
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日最高雨量	18.0	15.5	40.0	36.5	86.0	31.0	30.0	66.5	145.5	12.5	24.5	14.5
月総降雨量	30.5	41.5	90.0	194.5	238.5	110.5	207.5	176.0	392.0	31.5	92.5	25.5

月 別 降 雨 日 数 状 況

(令和4年)

年間降雨日数 130 日

■月降雨日数



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月降雨日数	4	4	9	13	13	14	15	16	19	6	9	8

